

自己点検・自己評価報告書

2017年2月28日現在

学校法人 ISI 学園 専門学校 東京ビジネス外語カレッジ

2017年2月28日作成

目 次

基準 1 教育理念・目的・育成人材像等	1	基準 4 教育成果 専門課程	24
1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか.....	2	4-18 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか.....	25
1-2 学校の特色はなにか.....	3	4-19 資格取得率の向上が図られているか.....	26
1-3 学校の将来構想を抱いているか.....	4	4-20 退学率の低減が図られているか.....	27
基準 2 学校運営	5	4-21 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか.....	28
2-4 運営方針は定められているか.....	6	基準 5 学生支援 専門課程	29
2-5 事業計画は定められているか.....	7	5-22 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか.....	30
2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか.....	8	5-23 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか.....	31
2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか.....	9	5-24 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか.....	32
2-8 意思決定システムは確立されているか.....	11	5-25 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか.....	33
2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか.....	12	5-26 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか.....	34
基準 3 教育活動 専門課程	13	5-27 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか.....	35
3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか.....	14	5-28 保護者と適切に連携しているか.....	36
3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか.....	15	5-29 卒業生への支援体制はあるか.....	37
3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか.....	16	基準 6 教育環境	38
3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか.....	17	6-30 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか.....	39
3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか.....	18	6-31 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか.....	40
3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか.....	19	6-32 防災に対する体制は整備されているか.....	41
3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか.....	22	基準 7 学生の募集と受け入れ	43
3-17 資格取得の指導体制はあるか.....	23		

7-33	学生募集活動は、適正に行われているか.....	44
7-34	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか.....	45
7-35	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか.....	46
7-36	学納金は妥当なものとなっているか.....	47

基準 8 財務

8-37	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか.....	49
8-38	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか.....	50
8-39	財務について会計監査が適正におこなわれているか.....	51
8-40	財務情報公開の体制整備はできているか.....	52

基準 9 法令等の遵守..... 53

9-41	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか.....	54
9-42	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか.....	55
9-43	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか.....	56
9-44	自己点検・自己評価結果の公開はしているか.....	57

基準 10 社会貢献..... 58

10-45	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか.....	59
10-46	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか.....	61

基準 1 教育理念・目的・育成人材像等

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>●学校法人 ISI 学園の理念 【世界を翔る即戦力、創造力の育成】</p> <p>●学校法人 ISI 学園の教育方針 【国際理解を深める教育——国際力】 世界各国の学生との異文化交流で「国際交流」を深め、グローバルに活躍できる人材を育てます。</p> <p>【理解と納得の専門教育——専門力】 各コースの専門教科を討議形式の授業で学び、グローバル社会で即戦力となる専門力を育みます。</p> <p>【社会人としての総合的な力を高める教育——人間力】 社会や企業の中で自立した一人の社会人として力強く生きていくための総合的な力「人間力」を学びます。</p> <p>●ISI グループの理念 「私たちは、グローバル人材育成のための教育環境の創造を通じて、人々の夢の実現と国際社会の発展に貢献します」</p> <p>●本校の特色は何といても在校生の多様化にある。2016年5月1日現在、23か国からの学生を受け入れており、このグローバルな環境を活かして職業人養成を通じ、社会に貢献する点が第一の特色である。</p> <p>●本校の将来構想は、企業連携を深め、職業実践専門課程の適合校となり、将来的には職業専門大学へと移行することにある。より高い次元でのグローバル人材育成教育機関を目指した将来構想を持っている。</p>	<p>●学校法人 ISI 学園の歩み 【第一フェーズ】 学校法人 ISI 学園 専門学校東京ビジネス外語カレッジの前身である学習塾「信濃学院」が今から 39 年前の 1977 年に長野県上田市で産声を上げた。そして予備校事業を中心に据えながら教育事業を成長・拡大させ、理事長である荻野祥二郎の先見の明により 1992 年には日本語教育振興協会認定校である日本語教育機関「長野外語アカデミー」を開校した。中国の教育機関との提携も強力に推し進め、1995 年には北京語言大学と業務提携を始めた。</p> <p>【第二フェーズ】 2002 年より日本語学校事業を展開し始め、高田馬場に「ISI 東京」を開校する。2003 年には日本語学校「ISI 中京」を岐阜市に開校し、同年 10 月「学校法人 ISI 学園」が東京都より設置認可を受ける。そして 2004 年 4 月に東京都町田市に「専門学校東京ビジネス外語カレッジ」を開校する。 2005 年には「専門学校長野外語カレッジ」を長野県上田市に開校する。</p> <p>【第三フェーズ】 ISI グループとしては日本語教育事業として、「ISI ランゲージスクール」、「ISI 外語カレッジ」、「ISI 中京」、「専門学校長野外語カレッジ日本語学科」と 4 校を擁し、専門学校事業としては「専門学校東京ビジネス外語カレッジ」、「専門学校長野ビジネス外語カレッジ」を現在擁する。 2014 年 4 月に専門学校東京ビジネス外語カレッジの池袋移転を機に、総定員 320 名の学校へと規模を拡大させた。2016 年 5 月 1 日現在で日本人学生も含め 23ヶ国 262 名もの多国籍な学生たちが本校で学んでいる。 今回の専門学校東京ビジネス外語カレッジの自己点検・自己評価をもとに同校のさらなるレベルアップを質・量ともに図れるよう中長期ビジョンを策定している。</p>

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	並河 克彦
--------	------------	-------	-------

1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-1-1 学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められているか	5	明確に定められている	学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などは、当校のホームページ、入学案内書に明示されている。	理念の定着を非常勤講師にも広げることが課題としてある。解決策として非常勤講師向けの研修が必要である。	学校案内書 ホームページ
1-1-2 理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っているか	5	具体的な計画・方法を持っている	2017年度から2019年度の中 期ビジョン戦略マップで、戦 略目標・数値目標を達成す ための KPI を確立している。	具体的な計画・方法は実行を 伴わないと意味がないので、 その実行力をきちんと人事 評価することで PDCA サイ クルを循環させる。	『2017年－2019年度中 期計画』
1-1-3 理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか	5	理念・目的・行動指針は学 園の普遍的な原理としてい るため、時代の変化に対応 した内容は中期計画に反映 するようにしている。	3 年間に 1 回時代の変化に 対応し、中期計画を立て、 本校のバランススコアカー ド、戦略目標を立てている。	日本人学生、保護者の方を始 めとするステークホルダー の方々のニーズを常に吸収 するとともに、アンテナを高 く張る必要がある。	『2017年－2019年度中 期計画』
1-1-4 理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか	5	教職員に周知され、学外に も広く公表されている。	教職員には学内に学校法人 ISI 学園の理念が記載され た額を掲示しており、学外 には学校案内書・ホームペ ージで広く公表している。	日本人学生向け公表は当然 のことながら、外国人留 学生も在籍するため、多言 語での学外への公表が必要 である。	学校案内書 ホームページ

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理念・目的・育成人材像が抽象的になるのを避けるため、9 項目の行動指針を策定し具体的な実践をするようにしている。並びに中期計画では上記の理念等を普遍の原理とし、バランススコアカードに基づく戦略マップに落とし込み、戦略目標・数値目標・KPI を明確にし、一人一人の教職員がそれに沿った形で個人目標を半期ごとに立てるようにし、人事考課を行っている。	2016 年度は 5 月 1 日現在、日本人学生が 24 名、外国人留学生在が 22 か国 238 名というグローバルな専修学校としての実態がある。そのため本校の理念・目的・育成人材像を日本語だけでなく、多言語でホームページ等を通じて全世界に向けて発信する仕組みづくりが肝要となっている。

最終更新日付

2017年2月28日

記載責任者

並河 克彦

1-2 学校の特色はなにか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-2-5 学校の特色として挙げられるものがあるか	5	「グローバル人になる」をキヤッチコピーに、グローバルビジネススクールとして多国籍を活用した教育活動・職業人育成を行っている。	2016年5月1日現在、計23か国、262名の日本人・外国人留学生在籍している。毎日がビビッドな環境の中で学習に励んでいる。	就職系では質の高い企業への就職内定率100%を実現させること、進学系では日本人学生を中心に海外大学進学プログラムにて卒業後までの実績を出すことである。	学校案内書 ホームページ

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
専修学校の将来は企業との連携ではなく、接続なくしてありえないと考えている。企業実習（インターンシップ）を拡充させ、将来的には2年課程のうち1年を企業実習に充てるデュアルシステムを構築し、より実践的な専門課程へと変革していく必要がある。文部科学省が推進する『専修学校における日本版デュアルシステム』がその根拠である。	日本学生支援機構の2013年度の調査によると、日本で就職をした外国人留學生は9,382名、24.7%である。外国人留學生が在籍する本校としても、日本で就職を希望する学生が多く、彼らの夢を実現させるために就職支援体制を構築することが急務の課題である。そのためにも多くの企業と連携をし、採用選考型の企業実習を実施できる仕組みが求められる。

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	並河 克彦
--------	------------	-------	-------

1-3 学校の将来構想を抱いているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-3-6 学校の将来構想を描き、3～5年程度先を見据えた中期的構想を抱いているか	5	時代の変化に合わせた中期計画を3年ごとに策定している。	時代の変化に合わせて3年ごとに中期計画を策定し、そこから戦略マップ・戦略目標・KPIそして個人目標へと落とし込んでいる。	進路決定については年々変化をしており、その動きを敏感にキャッチし、募集活動に活かすスピード感が求められる。	『2017－2019年度中期計画』

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
予測できない変化に柔軟に対応するためにもダイバーシティ学校運営を基軸に本校の将来構想を考えている。国際社会のニーズの変化に柔軟に対応しながら、絶え間ない教育改革に努め、日本人学生と外国人留学生が1:1で学ぶ環境の整備、そして新たな価値提供を図っていく。	日本人学生・保護者・業界・出身高校からの信頼を基盤にしながら、留学生30万人計画や日本再興戦略、中核的専門人材の育成といった政府のグローバル人材育成施策に沿った学校創り、運営をさらに加速度的に進めていく。

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	並河 克彦
--------	------------	-------	-------

基準 2 学校運営

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校運営の基本は学校の「理念」「目的」「育成人材像」を常に意識し、学生の成長支援のために尽くすことにある。その学生成長支援をすることで私たち教職員も成長し、社会に貢献することができると思う。</p> <p>学校法人 ISI 学園の理念は、「世界を翔る即戦力、創造力の育成」であり、教育方針は、①「国際理解を深める教育－国際力（世界各国の学生との異文化交流で『国際交流』を深め、グローバルに活躍できる人材を育てます）」、②「理解と納得の専門教育－専門力（各コースの専門教科を討議形式の授業で学び、グローバル社会で即戦力となる専門力を育みます）」、③「社会人としての総合的な力を高める教育－人間力（社会や企業の中で自立した一人の社会人として力強く生きていくための総合的な力『人間力』を学びます）」である。</p> <p>そして私どもが目指す「グローバル人材」とは自国の言葉、文化、習慣を尊重しつつ、国境を越え、世界の相手を知り、違いを理解し、そのコミュニケーション力を駆使して世界の様々な舞台で社会に貢献できる人材である。</p> <p>事業計画は 3 か年の中期計画があり、それを受けての年度計画と定められている。運営組織や意思決定機能については、理事会→幹部会議→専門学校事業戦略会議→本校の毎週の定例職員会議と、有機的に意思決定機能が働くようシステム化されている。</p> <p>人事や賃金での処遇に関する制度は『就業規則』『新人事制度』で細かく規定されており、社内のグループウェアでいつでも閲覧できるようになっている。</p> <p>また情報システム化による業務の効率化は E-system と呼ばれるグループウェアで諸手続きが電子化されており、業務の効率化が図られている。校内ではスクールリーダーという一元管理ソフトを活用し、出願受付、教務管理、学費管理、在籍管理を一つのソフトで行えるようにしており業務の効率化を図っている。学生募集については AOL というソフトを活用し、本校接触時から管理できるようにしている。</p>	<p>学校運営する上で本校の特記事項として外国留学生の多さにある。2016 年 5 月 1 日現在、日本人学生は総数 24 名であり、彼ら以外に 22 か国 238 名の外国人留学生が学んでいる。この多民族・多国籍であり、多様性を最大限にエンパワメントすることが本校のダイバーシティ学校運営の柱である。</p> <p>もちろん日本人学生と外国人留学生の特に就職に対する指導は大きく異なる面があるが、世界中から集まった学生であふれかえるキャンパスでお互いに刺激しあい、国際競争力を身につけていく本校ならではの学校運営は、将来グローバル専門職業大学のロールモデルになるのではないかと考える。</p> <p>スポーツの世界を持ち出すまでもなく野球やサッカー、大相撲の世界では以前から優秀な外国人選手を積極的に受け入れることで、全体を底上げし、発展を重ねてきた。本校もこれまで、そしてこれからも世界各国からの優秀な外国人留学生を厳正且つ積極的に受け入れ、本校の学校運営の活性化を図りたいと思う。</p> <p>専修学校という立場上、これからの学校運営の鍵を握るのは企業との密な連携である。文部科学省も進める「専修学校日本版デュアルシステム」を導入し、修了に必要な総履修時間数の 2 分の 1 は企業実習を中心にカリキュラム化し、企業と学生のミスマッチングを防ぐ採用選考型の実習にしたいと考えている。</p> <p>企業が求める人材のニーズは年々高度化且つ細分化されてきており、単に母語と日本語ができるというだけでは就職できない事態になっている。本校が掲げる三つの教育方針「国際力」「専門力」「人間力」を兼ね備えた職業人を育成し、国際社会に輩出することが当校の使命であり、社会貢献でもある。</p>

最終更新日付	2017 年 2 月 28 日	記載責任者	韓 洋春
--------	-----------------	-------	------

2-4 運営方針は定められているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-4-1 学校の目的、目標に基づき、学校運営方針は明確に定められているか	5	『2017年－2019年度中期計画』において学校運営方針は目的、目標に基づき明確に定められている。	『2016年－2018年度中期計画』において戦略目標・数値目標・KPIを策定し、その戦略マップに基づいて学校運営方針を定めている。	繁忙期になると日常の忙しさに埋没してしまいがちになるので、毎週の定例会議で原点に立ち返る振り返りが必要である。	『2017－2019年度中期計画』
2-4-2 学校運営方針はきちんと教職員に明示され、伝わっているか	4	経営会議で承認された『2017－2019年度中期計画』を本校の定例会議で常勤全教職員に詳細に明示し、伝えている。	会議で説明し、ファイルサーバーにも保存をいつでも閲覧できるようにしている。	部署を超えてのシナジー効果をどう生み出すかが課題である。	『2017－2019年度中期計画』
2-4-3 学校運営方針を基に、各種諸規定が整備されているか	4	学校法人ISI学園としての諸規定はほぼ完璧に整備されているが、本校内の各種内規については未整備のものもある。	特に教務規定等に関わる諸規定が未整備であり、一つ一つ部署間で協議し、新たに規定を作成するという状況である。	未整備の部分の諸規定を作成し、ファイルサーバーに保存をし、職員がいつでも確認できるようにする必要がある。	就業規則、人事考課規定、給与規定、承認ルート図、年間行事予定、各種会議日程、戦略マップ等。

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校運営方針を一人一人の教職員が腑に落とし、日々の教育業務にあたることは至極当然のことである。学生に対する中立性・公平性を保つ見地からも私も教職員の行動規定となる「法律」をすべてきちんと整備することは急務の課題である。そのためにも若干弱いと思われる教務等に関する諸規定を整備することは最優先事項として進めなければならない。	日本人学生だけでなく外国人留学生が在籍する本校としては、学校運営方針を多文化共生教育の視座からも考えなければならない。日本人学生には適用されない「出入国管理及び難民認定法」を順守しなければならないため、そのことも念頭に置いた学校運営方針を必要とする。そして諸規定も外国人留学生にわかりやすくわかりやすい日本語で作成するなどの工夫が必要である。

最終更新日付

2017年2月28日

記載責任者

韓 洋春

2-5 事業計画は定められているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-5-4 学校の目的、目標を達成するための事業計画が定められているか	4	バランススコアカードに基づいた戦略マップに沿って事業計画年間スケジュール・個人目標を設定している。学校の目的、目標を達成するための事業計画が定められている。	『2017-2019 年度中期計画』に基づいて学校の目的、目標を達成するための事業計画を個人目標レベルにまで落とし込んでいる。そして年間スケジュールに沿って事業計画を進めている。	教育の質向上と本校のブランド力強化のため、カリキュラム改革に着手した。同時にシラバスの充実、コースデザインの見える化も図り、講師間のリレー式教授、チームティーチングが飛躍的に進んだ。	『2017-2019 年度中期計画』 『2017 年度新カリキュラム』 『年間スケジュール』 各科目シラバス
2-5-5 学校は事業計画に沿って運営されているか	3	本校の教育活動すべてを事業計画に沿って運営しようとはしているが、マンパワーと教職員の経験値からスムーズで尚且つ100%以上の評価とはならない。チームビルディングの必要性もあり。	事業計画に沿って運営しようとしているが、日常の忙しさに埋没してしまい、ルーチンワークをこなすのに精いっぱいになる時期もある。個人の努力で運営をするのではなく、チームで運営していくことが重要である。	事業計画に沿って学校運営をするには、非常勤講師をも巻き込むことが大切である。日々の授業で学生たちと接する時間の長い非常勤講師の先生が実行力をもってして運営に携わるガバナンスをより強化することが大事である。	『2017-2019 年度中期計画』 『カリキュラム』 『年間スケジュール』

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
実際に事業計画に沿って学校運営する際に、どうしても日常の忙しさに埋没し、目先の仕事を片づけることに一所懸命になってしまうきらいがある。学校の目的・目標を達成するための事業計画をきちんと立て、その事業計画にそって運営するためには、現行の毎週行っている定例会議の場で、点検する時間を敢えて設ける必要がある。	学校の目的、目標を達成するために事業計画を定め、個人目標にまで落とし込んで学校の発展のために個人が努力するような仕組みを構築しているが、日々のルーチンワークに埋没され、振り返りもままならない状況ではある。この状況を打破するためにも毎週の定例会議を活用し、事業計画に沿って運営されているか点検する時間が必要だと思われる。

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	韓 洋春
--------	------------	-------	------

2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-6-6 運営組織図はあるか	5	運営組織図はきちんと作成されており、グループウェアでいつでもだれでも確認できるようにになっている。	グループウェアに保存されている。	特になし	組織図
2-6-7 運営組織や意思決定機能は、学校の目的、目標を達成するための効率的なものになっているか	5	理事会は定期的で開催されており、運営組織・意思決定機能は学校の目的・目標を達成するための効率的なものになっている	理事会の有効的な機能	特になし	組織図
2-6-8 組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	5	職務分掌表で教職員一人一人の職務分掌が明確になっている。	職務分掌表をファイルサーバーに保存し、常に確認できるようにしている。	特になし	職務分掌表

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
運営組織や意思決定機能は効率的なものになっている。学校法人としての理事会機能も活発に機能しており、本校の運営組織も職務分掌表に基づいて一人一人の役割が明確になっている。	学校法人 ISI 学園として理事会機能は活発に機能しており、毎月専門学校事業本部運営会議も開催し、組織図や職務分掌表が絵に描いた餅で終わらないように幹部レベルで意思決定機能を活性化させている。 校内でも担当本部長と共に毎月1回マネジメント会議を開催しており、単なるトップダウンとならないよう、現場主体の学校創りを積極的に進めている。

最終更新日付

2017年2月28日

記載責任者

韓 洋春

2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-7-9 学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	3	2016年度は組織も安定し、学校運営に必要な人材の確保と育成に着手することができた。	2016年度途中で中途退職した常勤教職員1名のみであり、組織運営は安定している。	すべての教職員が勤務経験年数別・階層別・職務別の複合的な研修計画立案及び実行が必要である。	特になし
2-7-10 人事考課制度は整備されているか	5	人事考課制度は整備されている。	人事考課制度はグループウェアでいつでも閲覧できるようになっている。	特になし	人事考課制度
2-7-11 昇進・昇格制度は整備されているか	5	昇進・昇格制度は整備されている。	人事考課制度に詳細に昇進・昇格制度が記載されており、グループウェアでいつでも閲覧できるようになっている。	特になし	人事考課制度
2-7-12 賃金制度は整備されているか	5	給与規定に定められている。	給与規定がきちんと定められており、グループウェアでいつでも閲覧できるようになっている。	特になし	給与規定
2-7-13 採用制度は整備されているか	5	採用制度は整備されている。	ISI グループのホームページ上で「求める人材」として5項目の条件を明示している。	履歴書・職務経歴書による書類審査を通過すれば web による適性検査を行う。その後面接により「求める人材」に合致するか採用可否を決める。	ホームページに掲載している「求める人材」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-7-14 教職員の増減に関する情報を明確に把握しているか	5	教職員の増減に関する情報を明確に把握している。	豊島区に教職員の異動があった場合、採用届・解職届を提出しなければならず、教職員名簿も併せて提出しなければならないため。	特になし	豊島区提出書類

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校法人 ISI 学園並びに ISI グループでは、人事や賃金での処遇に関する制度は整備されている。また学園で使用しているグループウェアにそれら諸規定が保存されており、いつでもだれでも閲覧できるようにしている。採用制度については、「求める人材」をホームページ上で5項目に渡って詳細に記述しており、書類・web 適性検査・面接・模擬授業等で可否を決定する。	人事や賃金での処遇に関する制度は、ISI グループ全体で整備されている。本校が属する学校法人 ISI 学園もその規定に則り、運用されている。ISI グループ全体で活用しているグループウェアに諸規定が掲載されており、いつでもだれでも閲覧できるようになっており、確認も容易にできるようになっている。

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	韓 洋春
--------	------------	-------	------

2-8 意思決定システムは確立されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-8-15 意思決定システムは確立されているか	5	最終的な意思決定システムは理事会であるが、細かな学校運営に関する意思決定は毎週行われる定例会議でなされている。	毎週行われる定例会議で審議事項を討議し、最終的に校長の承認を得るシステムが確立されている。	定例会議が毎週なので意思決定のスピードを上げる必要はあるかもしれない。	特になし
2-8-16 意思決定プロセスのポイントとなる仕組み(会議等)が制度化されているか	5	意思決定のプロセスのポイントとなる仕組みは制度化されている。	毎週行われる定例会議で審議事項を常勤教職員全員で討議し、最終的に校長の決済をいただいて意思決定する仕組みが制度化されている。	会議は制度化されているが、毎週1回なのでこの意思決定のプロセスのスピードを上げる必要はある。	特になし
2-8-17 意思決定の階層・権限等は明確か、学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	4	理事会←幹部会議←専門学校事業運営会議←常勤教職員定例会議という階層・権限が明確にされている。	明確に文書で示されているわけではないが、左記の階層に加え、グループウェアで上長の承認を得るシステムも確立している。	学校運営に必要な人材の確保と育成が現在焦眉の課題である。教職員の定着と着実にスキルアップしていく仕組みとを必要とする。	特になし

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
意思決定システムはかなり高いレベルで確立されており、会議の階層とグループウェアでの承認ルートとリアルとweb両方で諸々の意思決定・承認のシステムが構築されている。学校運営に関する意思決定も毎週行われる常勤教職員会議で審議事項を討議し、校長の決済を得て意思決定をする仕組みが確立されている。	学校運営に必要な人材の確保と育成は焦眉の課題であり、常勤教職員の着実なスキルアップ並びに全体のレベルアップを要する仕組みが必要である。 同時に属人的になっている業務について、可視化を行い業務フロー・業務マニュアルの作成にも取り組んでいる。

最終更新日付

2017年2月28日

記載責任者

韓 洋春

2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-9-18 業務効率化を図る情報システム化がなされているか	5	一つは学園内グループウェアを最大限に活用しており業務効率化が図られている。もう一つは教務系でスクールリーダーを活用している。	グループウェアの活用とスクールリーダーの活用による情報システム化がなされている。	スクールリーダーの活用について教職員間の温度差がある。	特になし

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
勤務管理や交通費精算から稟議書までありとあらゆる業務をグループウェアを活用し、情報システム化による業務の効率を図っている。教務系ではスクールリーダーを活用し、学生の基本情報・出席率・成績を一元管理し、業務の効率化を図っている。広報・募集系では AOL というシステムを活用しており、学園内で情報システム化等による業務の効率化を図っている。	グループウェアはあまり教職員間の温度差なく標準化されてきているが、スクールリーダーに関しては若干教職員間の温度差があり、その作業においては標準化を図るマニュアルがあったほうがいいかもしれない。広報・営業で使用している AOL は使用権限を与えられた者だけ使えるようにしている。

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	韓 洋春
--------	------------	-------	------

基準 3 教育活動 専門課程

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>専修学校専門課程は、業界のニーズに応えた職業人を世に輩出する職業教育の実践を至上命題としており、社会貢献に資することをその目的としている。</p> <p>各学科の教育目標、育成人材像は、本校の母体である学校法人 ISI 学園の教育理念、本校の教育方針に沿って明確に定めている。そのキーワードはグローバルであり、「国際力」、「専門力」、「人間力」の三つの力を伸ばすことがベースである。</p> <p>この三つの力を身につけるためカリキュラムは各学科で体系的に編成されている。学科内の各科目がカリキュラムにて適正な位置づけをなされているか検証し、改善を行うためのカリキュラム会議も実施されている。</p> <p>今後、「職業実践専門課程」認定を見据え、企業と合同でカリキュラム会議を開催し、より企業連携を深め、業界のニーズにより応えたカリキュラムを編成する予定である。</p> <p>授業評価の実施や評価体制はグループ全体で取り組んでおり、7月と1月に授業内容や授業を行う講師、学校生活に関することなどのアンケートを行っている。このアンケート結果をもとに、育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員の確保に努めている。その際、単に優秀な教員を確保するのではなく、学校法人 ISI 学園並びに本校の教育理念、教育方針を共有し、目標実現に向けていける教員を確保するように努めている。</p> <p>成績評価・単位認定の基準は明確化している。試験の素点、出席、平常点の3つを、科目間での乖離を小さくするように、係数を使って計算し、最終的に、素点+出席点+平常点にて成績評価するようにしている。この評価から単位認定を行い、評価を及第（A～D）、不認定（E）としている。</p> <p>資格取得の指導体制であるが、共通の英語・ビジネスマナー、学科コースの専門性に合わせた資格試験対策を行っている。外国人留学生も多数在籍していることもあり、日本語能力試験合格に向けたカリキュラムを編成している。</p>	<p>本校は、グローバルビジネス学科と国際コミュニケーション学科の2学科を設置している。グローバルビジネス学科はグローバルビジネスコース、国際コミュニケーション学科は英語キャリアコース、日中医療通訳コース、大学・大学院進学コースを設置し、2学科4コースとなっている。</p> <p>グローバルビジネス学科は、GBC（株式会社グローバルビジネス戦略総合研究所）のメンバーとして参加している。GBCは全国複数の専門学校が参画し、グローバル人材育成を目的とする新しいプログラムを展開している。そこにおける教育理念は「実践的英語力」「国際理解と異文化コミュニケーション」「経営戦略・起業家精神」であり、より即戦力のグローバル人材を育成するために、シンガポール留学による教育プログラムがある。留学先のシンガポールにある MDIS と本校とで学術交流協定を締結している。MDIS で取得した単位を本校単位へと互換することによって、プログラム終了時には MDIS のディプロマと本校の卒業・専門士取得ができる。</p> <p>また 2017 年度の募集からはアメリカ・イギリス・ハンガリーの大学に学士編入学できる 2+2 プログラムも本格的に推進している。</p> <p>英語キャリアコースは「実践的英語力」「異文化理解」「コミュニケーション力」を三つの柱とし、卒業後は外資系の企業への就職や日本でグローバル企業への就職を目指している。実践的な英語力を身につけることでグローバル人材としての市場価値を高めることが大きな目標になっている。</p> <p>日中医療通訳コースは、医療通訳士として日本の医療機関で活躍できるよう医療知識、確かな通訳能力、高いホスピタリティを兼ね備えた人材育成を行っている。</p> <p>大学・大学院進学コースは留学生予備校としての地位を確立すべく抜群の進学実績を誇れるよう充実したカリキュラムを編成している。</p> <p>本校には外国人留学生が在籍しており、各学科コースにおいて、日本語能力向上の授業体制になっている。</p>

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	伊藤 玲
--------	------------	-------	------

3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-10-1 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	4	<p>本校には外国人留学生が多く在籍し、業界のグローバル人材を求めるニーズに向けて正しく方向づけられている。</p> <p>加えて、日本人の入学者数増に向けて努力しており、こうした学生もよりグローバル志向の人材育成にしていきたい。</p>	<p>本校は業界のニーズであるグローバル人材育成に応えるべく、GBC（グローバルビジネスカレッジ）のメンバーとなっている。</p> <p>また企業との連携に向けた努力をしているところである。</p>	<p>日中医療通訳コースでは、医療関係者や病院との連携を取る機会が増えており、更なる関係強化を必要としている。一方、英語キャリアコースやグローバルビジネスコースでは、業界や企業との連携の機会が限定されており、質・量ともに向上させていく必要がある。</p>	特になし

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校の是である「グローバル人になる」という教育目標は、年々高まる業界からのグローバル人材ニーズがベースとなっている。グローバル人材育成に向けて、語学力はもとより、国際力・専門力・人間力を兼ね備えた即戦力を育成し、業界のニーズに応えることを使命としている。そのためにもカリキュラムの見直しと修正・新規開発、企業との密な連携を推し進めているところである。</p>	<p>本校には、業界からのグローバル人材ニーズに応えるべく、時代のニーズにあった授業カリキュラム作成のために、定期的に、内容の見直し、改定・新規開発を行っている。その際企業や業界関係者との密な連携を通して、業界からのニーズにより一層応えられるよう努力している。</p> <p>加えて外国人留学生が在籍しており、こうした学生をグローバル人材として活躍できるように教育することも重要な使命になっている。</p>

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	伊藤 玲
--------	------------	-------	------

3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-11-2 各学科の教育目標、育成人材像を養成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	3	各学科コースでは、目標になる資格試験を指定し、それに向けた授業を行っている。各コースに共通の英語、ビジネスマナー関係では関係する資格試験対策を行っている。また日中医療通訳コースでは、医療通訳士、医療事務といった業界で活躍するために必要な資格・知識の取得を目標している。 外国人留学生は、日本語能力向上に向けて、日本語能力試験合格を目標に指導している。	TOEIC等英語試験、ビジネスマナー分野の資格試験、各コースの学力成果を示す資格試験の結果等。 外国人留学生の場合、日本語科目の定期試験結果、日本語能力試験の各レベルでの合格率。 英語分野では、2016年度より入学から卒業までに2回以上のクラス分け／到達度試験を実施し、学力変化を見る試みを始めた。	現在、英語力の成果をしめすものとして、TOEIC受験を勧めているが受験率が低い。このため受験率を上げるための指導を強化していきたい。 また今後は、ビジネス関係の学習成果を示すものとして、簿記、ビジネス検定等の受検機会を増やしていきたい。 外国人留学生は、日本語能力試験受験を通じて、語学力を向上させていきたい。	特になし

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校では、国際力・専門力・人間力をつけるべく、語学力、ビジネス感覚、国際理解等の分野の授業カリキュラムを設定している。その成果を示すものとして、学内試験による成績評価以外に、資格試験受験を推進している。語学では、英語（外国人留学生は、日本語も付加）、ビジネスマナーを共通に、各学科コースの専門性にあわせて、多くの資格試験受験・合格に向けた指導をしている。	2016年度より新カリキュラムに移行した。従来の授業内容を見直し、科目の改廃、新規設定を行った。これにより分野別に関係する科目のグループ化、目的の明確化等を行い、よりスムーズな授業ができることを期待している。定期的見直しを通して、業界のニーズにあった教育内容を設定し、グローバル人材の育成に努めていく。加えて、日本人学生だけでなく外国人留学生も活躍できるようにしていく。

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	伊藤 玲
--------	------------	-------	------

3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-12-3 学科のカリキュラムは、目標達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されているか	4	学科のカリキュラムは業界のニーズに応え、職業人として即戦力で社会貢献できるよう編成されている。	学校案内書や学則に示されているカリキュラム、時間割例等。	現状では、学生の習熟度にばらつきがある。このため科目によっては習熟度別のクラスを設ける必要がある。	学校案内、学則（カリキュラム一覧）
3-12-4 カリキュラムの内容について、業界など外部者の意見を反映しているか	3	グローバルビジネス学科ではGBCの意見を反映した特色あるカリキュラムとなっている。	学校案内書に示されている。	今後は、業界関係者や企業担当者からの意見も参考にしてカリキュラム内容の見直し、変更・改定をしていく。	学校案内
3-12-5 カリキュラムを編成する体制は明確になっているか	3	教務部中心に各コースの担当で会議を開き、カリキュラム編成をする体制になっている。	カリキュラム会議の開催	常に時代の変化と業界のニーズに対応するため、教育的質の向上を目指して学則変更（カリキュラム改革）をしている。	特になし
3-12-6 カリキュラムを定期的に見直しているか	4	2016年度より新カリキュラムに移行した。今後も教育的質の向上を目指して後期より大幅なカリキュラム改革を行う。	カリキュラム会議の開催と学則変更	時代の変化を分析し、また業界のニーズに応えられる職業人育成カリキュラムを組織的に取り組む必要がある。	学則

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
2014年度よりカリキュラム会議を定期的に行い、2015年度末までの会議成果をもとに、2016年度より新カリキュラムに移行した。グローバル人材育成を行うべくものになったが、今後も時代の変化、求める業界のニーズに向けて、常にカリキュラムの見直し、修正・改定を続けていく予定である。	各学科コースのカリキュラムは、教務部を中心に、研究会や会議を開催し、現状把握、問題課題の整理・分析、それによる修正・改定、新規科目の設定等を行っている。 また業界の求めるグローバル人材像をもとに、本校の教育目標から指針、アドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシーを通じて、カリキュラム内容を見直していく。

最終更新日付

2017年2月28日

記載責任者

伊藤 玲

3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-13-7 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	4	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをしている。	コースデザインをもとに、シラバス作成、カリキュラム作成を行っており、各科目の適正な位置づけがなされている。	定期的に学生の理解度と満足度を検証する必要がある。効果性と成果性を測り、各科目が本当に寄与しているか確認することが必要である。	時間割、カリキュラム
3-13-8 各科目の指導内容、方法等を示したシラバスが作成されているか	4	教務部を中心に各コースのコース長、担当教員が作成した指導内容、方法等を示したシラバスが作成されている。	各コースのコース長、担当教員が作成した指導内容、方法等を示したシラバスがファイルサーバーに保存されており、閲覧可能である。	統一フォーマットによるシラバス作成が行われて、より見やすく管理しやすいものになっている。今後は、質の向上をしていく。	シラバス
3-13-9 各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	3	英語、日本語の語学科目、キャリアデザイン関係科目で統一的なシラバス作成ができるようになっている。また他科目でもシラバス作成ができています。	分野ごとのシラバス作成と管理ができるようになっており、ファイルをサーバーに保存できるようになっている。	関連分野の授業科目において、内容の関連性・重複状況、成果向上のための調整が必要と思われる。	特になし

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
2016年度より新カリキュラムに移行したが、それに至るまでカリキュラム会議の開催、各学科コースのコース長・担当教員によるカリキュラム開発を行ってきた。現在でも学科コース、及び分野ごとに研究会やヒアリングを通じて、教務部主導にて、時代の変化や業界のニーズに合ったコースデザイン、カリキュラムができるよう、組織作りをしているところである。	新カリキュラムによる授業開始により、教務部を中心にコース長、各コース担当者によるシラバス作成・管理が開始された。またカリキュラム内容実施と実施後の見直し等を順次行っているところである。 今後は、コース・教科ごとに担当者がコース長とともに、内容の質の向上と管理体制、それらの体制作りを行っていく。

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	伊藤 玲
--------	------------	-------	------

3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-14-10 学生による授業評価を実施しているか	5	前期 7 月と後期 1 月ごろに、学生満足度アンケートを実施し、学生による授業評価を実施している。	年 2 回実施している学生満足度アンケートに授業評価の項目もある。この項目結果もとに、問題課題の分析と対応策を検討している。	学生の各授業に対する満足度結果を講師の方にフィードバックする仕組みを整え、改善に役立てる必要がある。	学生満足度アンケート調査結果
3-14-11 授業内容の設計や教授法等の現状について、その適否につき学科や学校として把握・評価する体制があるか	3	校長や担当者が不定期で授業の様子を見学している。評価内容を整理し、項目ごとに評価する試みを行っている。	授業見学で各講師の授業内容の設計や教授法等の現状について把握に努めている。	授業方法については、統一した事柄以外に、教員のやり方、授業目標に応じて違いもあるため、これらを公平に評価する方法を検討していく。	非常勤評価

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校では、授業学期に合わせて、年 2 回、学生満足度アンケートを実施している。その中に授業評価を測る項目を設定し、集計後、問題課題の発見、対応策を検討している。また 2016 年度末より、新たなアンケートの実施を行い、精度の高いものになると期待している。</p> <p>現状では、アンケート結果を見ると、学生満足度が低い項目が見られ、問題課題を分析し対応する予定である。また新カリキュラムによるアンケート結果の変化もあると考えられ、それらの分析も行っていく。</p>	<p>本校の学生満足度アンケート結果を見ると、同様のことを行っているグループ校と比べて低い結果となっている。この満足度を上げるためにも教育の質的向上を推進していく予定である。</p> <p>2016 年度より新カリキュラムに移行すると同時に、教務部では科目ごとに担当教員・コース長を中心にチームを作り、授業進捗確認、講師管理体制を行っている。</p> <p>今後も授業内容、講師の授業運営の管理を進める予定である。</p>

最終更新日付	2017 年 2 月 28 日	記載責任者	伊藤 玲
--------	-----------------	-------	------

3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-15-12 学科の育成目標に向け授業を行うことができる要件（専門性・人間性・教授力・必要資格等）を備えた教員を確保しているか	4	新カリキュラム移行に合わせて、既存の講師の配置検討、新規採用を実施した。	採用試験 学生からの指摘、声	本校では、専門性に加えて、授業管理・学生指導力も加味して採用、評価している。この両面を備えた講師の確保が今後も必要なる。	講師採用時の履歴書 採用試験 学生満足度アンケート
3-15-13 教員の専門性レベルは、業界レベルに十分対応しているか	3	講師採用時に、授業の専門性に応じて配置を行っている。今年度より新カリキュラムに移行し、新規講師採用も行った。	採用試験 学生満足度アンケート	業界ニーズも変化していることから、今後、カリキュラムの修正・見直しを継続するとともに、適切な講師の採用・配置をしていく。	特になし
3-15-14 教員の専門性を適宜把握し、評価しているか	3	講師の専門性については、履歴書や採用段階での担当科目の配置にて対応している。	履歴書、職務経歴書 講師評価表	より明確に把握し、また定期的に評価できるよう、グループ全体で検討している。	非常勤講師評価基準
3-15-15 教員の専門性を向上させる研修を行っているか	2	学内では、教師研修会を行っているところである。語学関係では、チーム体制による授業方法の検討等を行っている。またコース長（現・元）による講師支援も行っている。	日本語科目講師チームミーティング等	授業科目によっては専門性が強く、講師と担当者間での個別での討議が多く見られるが、関連分野でのチーム化を進めていきたい。	教師研修会

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-15-16 教員の教授力 (インストラクション スキル)を適宜把握し、 評価しているか	3	新カリキュラム移行に伴い、 講師の訂正配置を行った。授 業方法や共通の授業評価を 通して、教授力の把握を始め ている。	定期的な授業見学、講師評価 の実施	語学分野での教授力につい ては、把握が比較的評価しや すい一方で、専門性の高い科 目が多くあり、それらを公平 に明確に評価する必要がある。	特になし
3-15-17 教員の教授力 (インストラクション スキル)を向上させる 研修を行っているか	3	英語、日本語の語学関係では カリキュラムや授業内容を 共通化し、授業進捗のチェッ クを行い、相互で指導方法に ついて検討している。	分野ごとのミーティング	現在、講師研修会の他、語学 分野でのミーティング回数を 増やしている。またキャリア デザイン分野での講師管理 から授業方法の検討も始 まり、今後も広げていく予定 である。	特になし
3-15-18 教員間(非常勤 講師も含めて)で適切 に協業しているか	4	新カリキュラム導入に際して、 各種会議を経て移行した。現 在、でもコース長・担当 者による協議、語学分野で のチーム体制を敷いている。	講師研修会 語学科目でのミーティン グ	全体での講師研修会の他、学 科コースごとの分科会、ミー ティング機会を増やしてい くことで、教授力向上、相互 支援を行っていきたい。	特になし
3-15-19 非常勤講師間 で適切に協業している か	3	本校では、定期の講師研修会 と分科会の他、分野ごとのミ ーティングを必要に応じて 行っている。また非公式で講 師間で支援・協業をしてい る。特に、コース長(現・元)、 勤務経験の長い講師の支援 もある。	定期講師研修会・分科会 分野ごとのミーティング	学校(教務)主催による講師 研修会、分科会にて情報共 有・協議を行っている。加 えてベテラン講師による非 公式の指導も含めた協業も 行っているがより強化して 協業を進めていく必要がある。	特になし

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-15-20 非常勤講師の 採用基準は明確か	5	本校は、講師採用において、必要となる条件・資格等を提示し、実際の採用においても、書類審査による資格要件、実績等を確認後、面接・模擬授業評価を行っている。	「面接・模擬授業評価表」により採用基準を明確にしている。	講師によっては、本校理念、教育目標等を理解していない場合もあるため、採用時にそれらを説明・指導する一方、学校施設・様子を見学・説明する機会を増やしていく。	面接・模擬授業評価表

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育において、目標となる人材育成は重要であると同時に、育成側の重要なところである。学科コースの教育目標の実現を期待できる講師の確保は学校の中核をなすものとして、校長中心で推進している。</p> <p>このため、採用においては、条件・資格等を明確化し、採用申し込み時の書類審査を慎重に行い、また面接・模擬授業評価にて適切な人材を選考・採用している。</p>	<p>本校の教員・講師は、授業のできる教師としての力量と、学生指導対応のできる管理面の両方を備えていることが求められている。講師は専門性に特化しつつも、一定レベルの学生管理のできるものが求められている。一方、学科コースも2学科4コース、レベル別クラスを設定していることから、個々の力量を行かせる協業体制も必要になっている。これらに対応できる講師を求め学内で管理指導していく。</p> <p>また本校には、外国人留学生も在籍しており、こうした学生にも適切に指導・対応できる講師採用と育成を今後とも行っていく。</p>

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	伊藤 玲
--------	------------	-------	------

3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-16-21 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	5	本校では、前期・後期にそれぞれ期末試験を実施している。その評価において、筆記試験点、出席点、平常点の3つによる総合評価である。	成績評価表を作成し、試験点、出席点、平常点の3つをもとに総合評価している。各点には、他教科との格差が生じないように係数をかけている。	教科によって、難易度にちがいあり、係数で調整しているが若干のばらつきがある。共通教科については、試験問題を統一するなど工夫をし、公平性をすすめている。	期末試験の評価基準等
3-16-22 他の高等教育機関との間の単位互換に関する明確な基準があるか	3	現在、単位互換においては、グローバルビジネス学科の海外留学での単位互換協定、大学等の進学での単位認定がある。前者は協定があり明確であるが、後者は各大学にカリキュラム・シラバスによる認定確認をしてもらっている。	シンガポール留学 MDIS と単位互換協定を結んでおり、修了者は、MDIS ディプロマ、本校卒業・専門士取得となっている。 また大学進学では単位認定をしてもらうためのカリキュラム、シラバス書類の提出も行っている。	海外留学先の開拓に向けて、提携を進めているところである。本校卒業後、海外大学への編入学のプログラム（「2+2 コース」）を推進している。 提携先とのカリキュラムと比較して、今後カリキュラム改定も必要になることもある。	各機関との単位互換協定

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>年2回行われる期末試験では評価を明確にし、単位認定を行っている。単に試験結果だけでなく、日々の出席、授業態度を加味して総合的評価になっている。評価もランクをつけ、A～Dを及第、Eを不可としている。</p> <p>評価によって認定された単位は他の高等教育機関にて評価できるように明確にすると同時に、単位互換が行えるようにすすめているところである。特に本校では、海外留学編入による「2+2 コース」を推進しており、今後も提携大学を広げていく予定である。</p>	<p>昨年度までは、シンガポール留学 MDIS、大学進学による単位認定が主であったが、現在、海外留学編入の「2+2 コース」をすすめており、提携先を増やしているところである。こうした提携先と本校とのカリキュラムを比較し相違点を確認しながら、スムーズに単位互換ができるように進めているところである。</p>

最終更新日付

2017年2月28日

記載責任者

伊藤 玲

3-17 資格取得の指導体制はあるか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-17-23 目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められているか	4	各学科コースでは目標となる資格があり、対策授業を行っている。また英語やビジネスマナー等の共通の科目については同一資格受験をすすめている。外国人留学生には日本語能力試験、進学希望者には日本留学試験対応をしている。	主な例として、日中医療通訳コースの医療通訳士、医療事務。共通のものとして、TOEIC、ビジネスマナー検定、簿記がある。	今後、ビジネスを重視した資格受験をすすめること、各試験の受験率アップ、合格者数増のための対策が必要である。	時間割 シラバス
3-17-24 目標とする資格の取得をサポートできる教育内容になっているか	4	各学科コースの授業カリキュラムには学習成果の一つとして、資格試験を目標にしており、対象になる授業において試験対策を実施している。	2016年度より新カリキュラムに移行し、ビジネスマナー資格、TOEIC 対策の強化を行っている。外国人留学生には日本語能力試験、日本留学試験対策に力を入れている。	一定の能力別・習熟度別での対応を行っており、さらに、こうした指導を強化する。また必要となる資格試験も増やし、受験対策を進めている。	カリキュラム シラバス

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>専門学校の教育成果を示すものの一つとして、各種の資格取得は、学生の外部評価の基準になると考えている。学生一人ひとりが目標を持って学習するための目標、学習意欲維持向上に大きな効果があると考え、本校では、資格受験・取得を指導している。</p> <p>また外国人留学生が日本留学の成果、就職進学のために必要な資格の受験・取得の指導を行っている。</p>	<p>2016年度より、新カリキュラムに移行し、各学科コースの目標をより明確にし、授業を開始した。今回の新カリキュラムでは、学科コースごとに目標となる資格試験対策も強化でき、また英語やビジネスマナーといった共通の科目も設定し、資格や進路指導も行いやすくしている。</p> <p>外国人留学生にも日本語能力向上のための関連資格試験対策も強化できるようになった。今後は、授業実施をしながら見直し・修正等を検討していく。</p>

最終更新日付

2017年2月28日

記載責任者

伊藤 玲

基準 4 教育成果 専門課程

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校を含む専修学校は、経済社会・業界ニーズに応える人材を育成し、世に輩出することで社会貢献に資することが使命である。また経済のグローバル化の中で、国内外で活躍できる人材育成のニーズが高まっている。</p> <p>本校ではこのことを念頭に置いて、社会のグローバル人材の需要に対応できる職業人育成を第一としている。その成果を示すものとして、卒業者就職数、求職者就職率である。</p> <p>上記のことに向けて、本校では入学時から指導を行う為に、キャリアセンターを設置し、教務部との連携のもと、キャリアセンター職員、担当講師が中心に就職支援を行っている。具体的には、以下のようである。</p> <p>1 年次にはキャリアセンターによる個別進路指導を随時実施し、就職希望者との個人面談を行っている。個人面談の内容は、就職活動ガイダンス、就職目標設定、授業での就職指導概要説明、資格取得について、web エントリーの仕方、目標業界・企業の選定、具体的なスケジュールの検討等である。</p> <p>2 年次では、より詳細な指導を行い、個別進路指導を随時行い、外部のガイダンスへの積極的参加や各種説明会・合同説明会への参加、履歴書指導、模擬面接等を行っている。</p> <p>授業においては、キャリアデザイン、就職対策、ビジネスマナーといった授業科目を設定し、コミュニケーション力強化、業種・業界研究、企業研究・企業分析・財務分析、一般常識・時事問題、経営管理の動向・企業が求める人物像の分析、SPI 対策、面接対策・ビジネスマナー、コミュニケーション力強化、履歴書・エントリーシートの書き方等を実施している。</p> <p>加えて各コースの専門科目の授業において、業界が求める即戦力としての専門知識とスキルを身につけられるようカリキュラムを編成している。</p> <p>更に、企業や業界関係者を招いた説明会の実施、また企業へ出向き、実践的な実習を進めているところであり、今後も推進していく予定である。</p> <p>本校では、こうした人材を育成すべく、入学段階で、学力と意欲のある学生の選抜を行っている。</p>	<p>本校では、グローバル社会で活躍できる人材を育成し、経済社会で活躍してもらうことを念頭に置き、共通に進路に向けた就職指導の科目、各コースに専門科目を設置している。また外国人留学生も多数いることも考慮した科目、授業に工夫をしている。就職指導面としてのプロセスは以下のようである。</p> <p>第1に、社会人となることを前提にした自己啓発、自分の将来像を考えてもらう指導を行っている。自分を見つめなおし、社会人とは何かについて考え、そこから経済社会が求める人材、自分のありたい姿を考えるものである。</p> <p>第2に、就職すべき情報、知識取得を念頭においた業界研究、企業事例、就職に必要な事柄について学習する。</p> <p>第3に、就職準備としての書類作成、エントリー方法、ビジネスマナーをはじめ、企業とのコンタクトといったことを行っていく。また各コース専門の授業科目を通して、それぞれ専門の知識を取得していく。授業には資格受験対策も行い、資格取得による成果を示すことも行っている。</p> <p>第4に、上記も含めた各種説明会、就職指導を実施し、個別で相談・指導を行い、総合的に指導を行っている。</p> <p>第5に、本校ではグローバル人材育成を軸にしていることから英語のコミュニケーション能力向上に力を入れている。</p> <p>本校では、外国人留学生も在籍していることから、日本語能力向上に向けた教育と資格としての日本語能力試験合格に力を入れている。また日本の生活習慣、ビジネスマナー指導、異文化理解指導を通して、日本での就職はもちろん、グローバル人材としての活躍ができることを期待している。</p> <p>近年就職を前提にしてさらに研究を深めたい学生も見られ、大学・大学院進学希望者も少数おり、こうした学生に対しても同様の個別指導を実施している。</p>

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	伊藤 玲
--------	------------	-------	------

4-18 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-18-1 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	4	<p>本校では、入学時より就職指導が実施できるよう、授業科目に専門科目を設置している。また就職活動はもとよりビジネスマンとして活躍できるように、キャリアデザイン、就職対策授業、ビジネスマナーといった科目を置いている。</p> <p>加えて外国人留学生もスムーズに就職活動できるようにそれぞれに対応させている。</p>	<p>キャリアセンターを設置し、専門教員を配置している。</p> <p>教務職員も含めて、就職指導、各種説明会実施等の諸活動をしている。</p> <p>授業科目にも設置し、キャリアセンターの指導と連携できるようにしている。</p>	<p>全体として、就職希望者のニーズが多様化しており、それぞれにあった指導が求められるようになっている。</p> <p>加えて、本校には外国人留学生も在籍しており、日本での就職活動のための指導、相談受付、就職後のビザ申請・取得等の対応がある。</p>	<p>学校案内 授業カリキュラム</p>
4-18-2 就職成果とその推移に関する情報を明確に把握しているか	3	<p>就職指導については、キャリアセンターでは個別面談記録を作成し、全体で閲覧できるようにしている。</p>	<p>キャリアセンター作成の個別面談記録。</p>	<p>今後は、学生達が求める企業の求人票を多く獲得し、企業研修・インターンシップによる就職への結びつきを行っていく。</p>	<p>就職個別面談記録 研修報告資料</p>

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>卒業後の進路である就職は専門学校の職業教育の成果の一つであることから、最も重要な位置にある。また就職者数・就職率は入学を考える学生の学校選択の基準になることから学生募集に大きな影響を与えるものである。</p> <p>このため本校では、求職者就職率を上げることと、就職後も長期に勤務できるように、希望する業種への就職に向けた指導、企業実習を通して、就職率の質的向上を行っている。</p>	<p>本校では、就職を念頭におき、自分が社会人として活躍し、自身の幸せと社会貢献ができるように、キャリアセンターによる、自己啓発、業界知識取得・理解分析から始め、就職準備としての全体説明会による身だしなみ、マナー、企業説明等、授業では専門の指導をおこなっている。さらにクラス指導をはじめ、個人指導での企業エントリー、書類作成を行っている。また外国人留学生も積極的に就職活動ができるよう指導している。</p>

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	伊藤 玲
--------	------------	-------	------

4-19 資格取得率の向上が図られているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-19-3 資格取得率の向上が図られているか	4	本校では、職業教育による人材育成の一つとして、関連の資格取得に力を入れている。特にマナー関係、企業会計関係、外国人留学生では日本語能力試験受験を勧めている。 授業にも関連科目を設置している。	カリキュラム、時間割	本校が力を入れている英語教育において、今後はTOEIC等で点数にて成果が見られる試験率が上がるように努力したい。 外国人留学生は日本語能力試験N1合格が求められており、合格が厳しい学生への指導が必要になっている。	カリキュラム、時間割
4-19-4 資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	3	資格試験受験者数と取得者数についての情報が担当者から教務部、キャリアセンターレベルまでになっている。	全体共有までは至っていない現状	入学前の取得情報、在籍中の受験・取得状況を把握できるような学生管理ソフト導入が必要になっている。 今年度は情報整理を行っている。	特になし

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校では、ビジネス系資格、語学系資格、及びマナー関係資格取得に力を入れている。外国人留学生は日本語能力試験受験・合格も含めており、それぞれ授業カリキュラムに組み込んでいる。これ以外に、各学科コースで必要となる資格試験受験をしている。 今後、さらなる資格試験受験と合格数を増やすために、教務・キャリアセンターが連携して行っていく。	本校は、語学・ビジネス・国際理解を軸にして、職業教育を展開している。設置されている学科コースでは、それぞれの目的に応じて、授業とその成果を示す資格受験をすすめている。グローバルビジネスコースと英語キャリアコースでは、マナー分野・英語分野を共通とし、前者はビジネス系資格取得に、後者は英語資格に力を入れている。さらに日中医療通訳コースでは、医療通訳士と医療事務の資格試験を行い、病院のグローバル化に対応できる人材を育成している。

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	伊藤 玲
--------	------------	-------	------

4-20 退学率の低減が図られているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-20-5 退学率の低減が図られているか	3	入学後、個別面談、クラスHRを通じて、学生一人一人の状況管理を行っている。就職や進学が決まると退学する場合が見られる。	退学者数	退学者の多くが就職先や進学先が決まった場合、卒業前に退学になることが多い。	退学者リスト
4-22-6 入退学者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	5	本校では、管轄の豊島区をはじめ、東京入国管理局に在籍についての情報を提出しており、定期的に人数を把握できる体制になっている。	区への提出書類 入退学者数定期報告	本校立地の豊島区への報告、外国人留学生については東京入国管理局に退学者数、推移に関する情報を提出しており、常に退学者を出さないように、各種の指導を実施している。特に外国人留学生については、退学後の帰国確認、進路先確認を徹底するようにしている。	入退学者定期報告 退学に至る面談記録

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校では、入学後、卒業までの在籍中適切な教育を行い、希望する進路先へと送り出すことが務めである。今後も退学者減少に努めたい。	事前の個別指導を通して情報を把握すると同時に、退学の目立つ時期に相談・指導を実施し、卒業まで学業継続の意欲が落ちないようにしたい。

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	伊藤 玲
--------	------------	-------	------

4-21 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-21-7 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2	在校生の社会的な活躍及び評価は把握しているが、卒業生の活躍や評価についてはなかなか把握できていない。	前述のとおりである。	卒業後、起業した者もいるが、全体を把握できない。将来的には同窓会等の組織作りが必要である。	特になし
4-21-8 卒業生の例として特筆すべきものを記述できるか	2	本人自身、知人・友人と起業したケースが見られるが、現状を把握していない。	前述のとおりである。	起業をした卒業生も見られるようになったが、今後、ビジネス界での活躍や起業を支援する仕組みが求められる。	特になし
4-21-9 在學生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価されたか	1	現状では実績なし。	前述のとおりである。	既存の語学、ビジネスというコース設定では難しい面があるが、検討課題としていきたい。	特になし
4-21-10 在學生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価された例として特筆すべきものを記述できるか。	1	現状では実績なし。	前述のとおりである。	同上。	特になし

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本学の教育内容は、語学分野、ビジネス分野が中心となっている。また学科コースも新設されたものも多く、卒業生がコンテスト等で評価を受ける例はまだない。しかし、卒業後、起業することが見られるようになった。外国人留學生が母国にて起業して海外展開を目標にしているケースもあり、今後もグローバル人材を育成に力を入れていく。</p>	<p>現在のところ、卒業後に起業したケースは見られるようになったが、グローバルに経済社会の発展に活躍している人材は見られない。しかし今後、本学の教育を通じて、経済活動・国際交流の場で活躍し、在校生のモデルとなる人材を育成していきたい。</p>

最終更新日付	2017年2月27日	記載責任者	伊藤 玲
--------	------------	-------	------

基準 5 学生支援 専門課程

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>在校生に産業界のニーズに応えたカリキュラムを提供し、即戦力として役立つ職業人を養成することは専修学校の使命であり、その大きな成果指標として就職希望者の内定率があることは言うまでもない。</p> <p>そのためにも入学当初から就職ガイダンスや個別面談を通じて職業意識を高め、どのような業種・職種で働いていきたいのか学生を支援する体制が不可欠である。</p> <p>本校では産業界が必要とする即戦力を養成することが使命であることから、就職するための就職活動の基礎から支援する必要がある。そのために本校ではキャリアセンターを設置し、常勤のキャリアアドバイザーを1名配置している。</p> <p>長期休暇前・後の就職ガイダンス、1年次では年に2回の個別面談、2年次では月に1回の個別面談に加え、外部の就職説明会への参加、就職希望者へのビジネスマナーや履歴書添削、面接練習等、きめ細やかな支援を行い、彼ら・彼女らが希望の進路に就職できるよう日々教育活動を行っている。</p> <p>学生相談に関する体制は担任を中心に、事務局、キャリアセンターと多方面に渡って相談に乗れる体制を整えている。</p> <p>学生の経済的側面に対する支援は、公的な奨学金・ローン以外には種々の本校独自の奨学金（学費減免）制度を設けている。ただ単なる学費減免では全体的に整備された支援制度とは言い難いので、将来的には企業から奨学金を募り、人物・成績ともに優秀な者に奨学金を給付できるファンドを設立したいと考えている。</p> <p>学生の健康管理については、全学生対象に年に1回健康診断を実施し、健康状態の把握に努めている。逆に課外活動、保護者との連携並びに保護者会、卒業生への支援体制はまだ未整備なところが多く、今後の課題としたい。</p> <p>保護者との連携や卒業生への支援は教育活動の根幹に影響を及ぼすもので、ぜひとも挑戦課題としたい。</p> <p>学生寮については保有しており、特に遠隔地から来た日本人学生が活用している。</p>	<p>就職に関する支援体制も全学挙げてのものとなっている。キャリアセンターも設置し、専任職員も配置しているが、就職内定までには想像以上の労力を費やすからである。教育的効果が高いものとして実際に日本の企業に就職した先輩の体験談、積極的に採用している企業の説明会、企業実習等である。特に将来的には専門職業大学への移行を構想として持っている本校としては、産学接続プログラムを積極的に推進し、採用選考型企業実習をカリキュラム化して単位認定していくことに果敢にチャレンジしてきた。</p> <p>学生相談については担任を中心に、事務局、キャリアセンターと多方面から支援できる体制をとっている。経済的側面についての相談も少なくない。保護者が学費と生活費を賄うのも大変なことであり、本校独自の奨学金（学費減免）制度を種々設けているが、まだ未整備な点があることも否めない。産学連携でファンドを創設し、人物・成績優秀な学生に奨学金を給付するといった制度設計も視野に入れたい。また入学の段階で経費支弁能力を厳しく審査し、アルバイトだけに頼ることなく十分な経費支弁が得られる外国人留学生を選抜することも重要なことである。</p> <p>そしてこれから着手しなければならないのは、保護者との連携と同窓会組織の設立である。日本人学生であれば保護者との連携はしやすいが、外国人留学生の場合もちろん場所の問題や言語の問題もあり、一筋縄ではいかないのが現状である。しかし異国の地から大事なお子さんをお預かりしている本校の責任として、留学の志を半ばであきらめることのないようにインターネットや在籍者が多い国では現地での保護者会などを通じて、連携していくことが急務の課題だと考える。</p> <p>卒業生への支援については現状ではまだ何もできていないが、同窓会組織を立ち上げ、後輩のロールモデルになるような活躍する姿を教育活動に還流させたいと考えている。他校でも実践している「ホームカミングデイ」等も本校への帰属意識・愛校心を涵養するうえで必要だと考えている。</p>

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	韓 洋春
--------	------------	-------	------

5-22 (1/1)

5-22 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-22-1 学生の就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4	就職・進学ともに専任教職員を配置し、授業や個別相談体制を敷いている。	前述のとおりである。	進路相談室を設置し、各種資料を常備した専用教室の整備が必要である。	特になし
5-22-2 就職に関する説明会を実施しているか	4	キャリアセンターによる就職ガイダンス、合同企業説明会を実施している。	前述のとおりである。	どの時期にどのタイミングでこういった内容の説明会を実施するのか精査し、年間スケジュール化する必要がある。	特になし
5-22-3 就職に関する学生個別相談を実施しているか	4	1年次は前期と後期の年2回実施。2年次は月に1回キャリアセンター職員並びに担任が学生個別面談を実施している。	前述のとおりである。	個別相談前にジョブカード、履歴書を作成する授業を体系化する必要がある。	特になし
5-22-4 就職の具体的活動(履歴書の書き方など)に関する指導を実施しているか	3	就職希望者に対して履歴書の書き方に関する指導を行っている。	前述のとおりである。	就職の具体的活動(履歴書の書き方など)を2年間でどこまで到達目標にするか明確に定め、カリキュラム化する必要がある。	特になし

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
就職についてはまず就職希望者内定100%の期限から逆算し、カリキュラム化、シラバス作成を推進しなければならない。そして効果的な説明会をどのタイミングでするか戦略的思考が必要である。加えて担任と連携した学生個別相談を定期化することも重要である。	就職・進学共に学生が空いた時間に自由に資料を閲覧し、onlineで検索、エントリー等できる専用の教室設置が必要である。

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	韓 洋春
--------	------------	-------	------

5-23 (1/1)

5-23 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-23-5 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4	全クラス担任制を敷き、個別面談も年に4回実施している。加えて事務局でも学生相談に乗る体制を整備し、有効に機能している。	前述のとおりである。	まだまだ学生相談に関する体制は完全なものとはなっておらず、カウンセリングルームの設置や専門相談員の配置が必要である。	特になし
5-23-6 学生相談室を開設しているか	1	学生相談室は開設されていない。 担任による個別相談は行っている。	前述のとおりである	プライバシーを守られた上での学生相談室を開設する必要がある。	特になし
5-23-7 学生からの相談に応じる専用カウンセラーがいるか	1	専用カウンセラーはいない。 担任による個別相談は行っている。	前述のとおりである	メンタル面での不調を訴える学生も増えてきているので、専用カウンセラーもしくは専門の研修を受けた職員の配置が必要である。	特になし
5-23-8 留学生に対する学生相談体制は整備され、有効に機能しているか	4	外国人留学生が在籍していることから留学生に対する学生相談体制は教務・事務局連携の下、体制は整備され、有効に機能している	前述のとおりである	留学生のメンタル面での相談体制はまだ脆弱で、地域の医療機関と連携しながら留学生のメンタル面の相談に乗れる体制構築が必要。	特になし

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生相談に関する体制は整備されている部分があれば不十分な点もある。すべてを教職員で対応しようと思うと、特にメンタル面での不調を訴える学生への対応は難しくなり、やはり専門的な研修を受けるなり、専門カウンセラーによる相談体制等の整備が必要になってくる。ただ教職員と学生の距離が近く、面倒見の良い点は本校の特徴でもある。	留学生に対する学生相談体制は本校では日常的に留学生から相談があることから、教務・事務局との連携の下体制整備に努めてきた。いろいろな相談はあるが、教職員は日々経験値を積み重ねながら留学生に対する相談体制をさらに整備し、有効に機能させている。一方カウンセリングの研修や専門カウンセラーによる相談体制も必要である。

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	韓 洋春
--------	------------	-------	------

5-24 (1/1)

5-24 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-24-9 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	4	種々の学費減免制度を設け、学生の経済的側面に対する支援を全体的に整備し、有効に機能させている。	専門学校東京ビジネス外語カレッジ学費減免制度	学生の経済的状況と人物・成績評価を組み合わせた総合的な支援策をさらに充実させる必要がある。	特になし
5-24-10 奨学金制度が整備され、有効に機能しているか	1	本校独自の奨学金制度はなく、公的な奨学金制度の活用にとどまっている。	前述のとおりである	出席率、成績、人物等を総合的に評価し、優秀者には本校独自の奨学金制度が整備されることが望ましい。	特になし
5-24-11 学費の分納制度等、学生を経済的に支援する制度が整備され、有効に機能しているか	3	学費の分納制度は設けられており、学生を経済的に支援する制度が整備され、有効に機能している。	前述のとおりである	特になし	特になし

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各種学費減免制度を実施し、学生の経済的側面に対する支援を整備してきたが、今後は在学中に総合的な経済的側面の支援策を講じる必要性がますますある。経済的に困窮ではあるが模範的な学生に対し、卒業できるよう経済的支援策を講じる等の本校独自の奨学金制度が必要であると感じる。	外国人留学生も在籍している本校では、経費支弁能力が重要な事項となっている。在籍管理の観点から。選抜の段階で経費支弁能力がある学生を選考しているが、人物・成績ともに優秀な学生には大胆な学費減免制度と在学中には本校独自の奨学金によって学業支援する体制整備が必要である。

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	韓 洋春
--------	------------	-------	------

5-25 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-25-12 定期的に健康診断を行うなど学生の健康面への支援体制はあるか	5	外部の医療機関に委託をし、年に1回定期的に全学生の健康診断を実施している。	前述のとおりである	特になし	特になし
5-25-13 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	4	学生の健康管理を担う組織体制は事務局で分担しており、事務局が主体となって学生の健康診断を実施している。	前述のとおりである	事務局で学生の健康管理を担っているものの、日常的な健康相談には乗れないため、地域医療機関との連携が必要である。	特になし
5-25-14 学生からの健康相談等に専門に応じる医師・看護師等がいるか	2	学生からの健康相談等に専門に応じる学校医はいるが、こちらからの要請に応じて来る体制である。	前述のとおりである	学校医はいるが常勤ではなく、こちらの要請に対して来校するという体制なので、定期的に来校して相談体制を整備する必要がある。	特になし

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
定期的に全学生対象に健康診断を実施する支援体制はある。ただ学生の健康管理を日常的に担う組織体制ではなく、事務局がその任務を担い、必要に応じて地域医療機関と連携している。学校医もいるが、定期的な来校・相談体制にはなっておらず、学校からの要請ベースで動くので、日程調整等タイムリーな相談体制にはなっていない。	特になし

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	韓 洋春
--------	------------	-------	------

5-26 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-26-15 スポーツ等のクラブ活動、ボランティア活動その他、課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	4	地域の豊島区役所、目白警察署、消防署、民間企業、町内会、高齢者施設といったオール豊島区で語学支援ボランティアに取り組んでいる。	前述のとおりである。	特になし	特になし

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
地域の官公庁、企業、地域団体とともに語学支援ボランティア活動をオール豊島区で行っており、地域における本校の社会的評価、並びに学生の地域貢献に対する意識変革が急速に高まった。	次年度に向け学生主体の課外活動に本校としても人的・財政的支援をしていく方針である。

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	韓 洋春
--------	------------	-------	------

5-27 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-27-16 遠隔地出身者のための学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	5	学生寮は備えており、遠隔地出身者のために支援を行っている。寮の管理人もおり、生活環境適応のための支援も行っている。	前述のとおりである	特になし	特になし

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校がある池袋から電車で10分程度のところに学生寮を持ち、遠隔地出身者のために支援を行っている。管理人もいるので遠隔地から入学した学生の東京での生活環境適応のための支援も行っている。	特になし

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	韓 洋春
--------	------------	-------	------

5-28 保護者と適切に連携しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-28-17 保護者と適切に連携しているか	3	日本人学生については保護者と日常から連携しているが、外国人留学生の保護者とは連携するに至っていない。	前述のとおりである	外国人留学生だから保護者と連携できないと考えるのではなく、外国人留学生だからこそ良い面も悪い面も含めて保護者と連携しなければならない。	特になし

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
日本人学生については学校生活や出席状況で保護者と連携を取れているが、外国人留学生の場合は学校に来なくなった等何か問題が発生してからでないと連携できていない。遠い異国の地からご子息をお預かりしているという教育的責任を果たすため、外国人留学生の保護者についても連携の在り方を再検討しなければならない。	本校は外国人留学生も在籍しているため、日常的には保護者との接点を持ちにくい面もある。

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	韓 洋春
--------	------------	-------	------

5-29 卒業生への支援体制はあるか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-29-18 同窓会が組織化され、活発な活動をしているか	1	同窓会組織がないのが現状である。	前述のとおりである	早急に同窓会組織を立ち上げ、卒業生の自主的な活動を支援する体制を構築すべきである。	特になし
5-29-19 卒業生をフォローアップする体制が整備され、有効に機能しているか	1	同窓会組織もなく卒業生をフォローアップする体制も整備されていない。 学園祭でのホームカミングデーは実施している。	前述のとおりである	卒業生を具体的にどういう内容でフォローアップするのか共通認識を持つことから始め、体制整備につなげたい。	特になし

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校にとって卒業生への支援体制は弱い部分であり、取り組めていない点である。同窓会組織並びに卒業生をフォローアップする体制の整備に向けて、早急に着手できるよう学内での議論を始めたい。	特になし

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	韓 洋春
--------	------------	-------	------

基準 6 教育環境

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校の教育環境の最大の長所は、全教室に電子黒板を導入している点である。これにより単なる板書に終わるのではなく、ノートパソコンやタブレット等を活用した静止画や動画を活用した視聴覚に訴える授業を提供でき、学生の理解度、満足度を向上させるのに非常に役立っている。今後も教育の ICT 化を積極的に進め、学生の満足度向上に努めたい。</p> <p>一方で施設・設備については築 35 年を越えたこともあり、いろいろところで老朽化した施設・設備が目立ってきた。日常的にメンテナンスをする常勤管財スタッフがいないため、施設・設備のメンテナンスが後手後手に回っていることは否めない。</p> <p>海外研修については、フィリピンセブ島での 2 か月間の英語集中トレーニング、そしてシンガポールの MDIS での 11 か月間の専門授業等、力を入れている。今後も 2+2 プログラム（本校卒業後海外の大学 3 年次編入プログラム）を積極的に推し進め、海外留学プログラムを拡充していく予定である。</p> <p>防災に関しては非常に不十分なままだが、目白警察署との連携の下、避難訓練や防災講話等に着手し始め、今後防災に対する体制を整備したい。</p>	<p>学園としても教育の ICT 化を最重要課題に位置づけ、本校も全教室での電子黒板の導入など、先進的な教育環境整備に努めてきた。この環境を最大限に発揮するために授業を担当する教員・講師がいかんして有効に活用するか全体研修を行うなどの課題はある。</p> <p>海外研修については日本人学生募集において訴求力となっており、現在のフィリピンセブ島での英語集中トレーニング並びにシンガポールの MDIS での 11 か月間の専門授業に加え、2+2 コース本校卒業後海外の大学 3 年次に編入学）を次年度形あるものにした。</p> <p>防災についてはまだまだ不十分な点が多いが、地元の目白警察署から依頼があり、外国人留学生が多い本校の特徴から災害時の外国語ボランティアに関する協定を結んだ。災害時に日本語がわからなくてどうしていいか困っている外国人住民に、本校の外国人留学生が通訳ボランティアとして協力するというものである。少しずつではあるが、地元の警察署と連携しながら校内の防災体制整備に力を入れたい。</p>

最終更新日付	2017 年 2 月 28 日	記載責任者	韓 洋春
--------	-----------------	-------	------

6-30 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-30-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	本校ではすべての教室に電子黒板を導入し、教育のICT化を整備している。少人数制授業のための教室確保が課題である。	前述のとおりである	電子黒板を十二分に活用するために教員・講師向けに研修を行い、授業の質を向上させる取り組みが今後必要である。	特になし
6-30-2 施設・設備のメンテナンス体制が整備され、有効に機能しているか	3	法定点検、日常メンテナンス共に体制は整備されている。後者に関しては作業負荷を考慮し、運用の見直しを行う必要がある。	前述のとおりである	日常メンテナンスに関しては随時対応とせず、纏めて対応していく等、負荷・経費削減のために計画を立案し、実行する。	特になし
6-30-3 施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通りに更新しているか	3	法定点検は、指摘事項に則り計画的に遂行している。日常メンテナンスは、随時対応となり、老朽化した施設・設備の更新に関する計画が立てられない状況である。	前述のとおりである	施設・設備の更新に関する計画の立案のために管財スタッフを常駐させ、統括している本部の管理部門と調整を図っていく。	特になし

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
電子黒板のように教育上の必要性には十分対応している。施設・設備のメンテナンスに関しては校内に常勤の管財スタッフはいないが、近隣の学園本部管理部が窓口になって、定期的なメンテナンス及び修繕維持を行っている。	特になし

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	韓 洋春
--------	------------	-------	------

6-31 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-31-4 学外実習、インターンシップ、海外研修等について外部の関係機関と連携し、十分な教育体制を整備しているか	4	海外研修においては外部関係機関と連携して、グローバルビジネス学科2年次にシンガポールのMDISで11か月学ぶ教育体制を整備している。	前述のとおりである	課題は留学希望者がまだ少ない点である。留学費用等経済的な負担感もあるが、このプログラムの魅力をより広く知らしめ、プログラム希望者を広く募集したい。	特になし
6-31-5 学外実習、インターンシップ、海外研修について、その実績を把握し教育効果を確認しているか	4	学外実習やインターンシップ共に定期的に報告を受け、教育効果を確認している。	前述のとおりである	海外研修についてはその実績を把握し、教育効果を確認しているが、今後インターンシップも同様のシステムを構築したい。	特になし

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
海外研修については外部機関と連携し、シンガポールのMDISで11か月学ぶプログラムを整備している。これに関してはその実績を把握し、教育効果を定期的に確認している。インターンシップについても海外研修同様その実績を把握し、教育効果を確認している。	海外研修に参加する母数は少ないものの、グローバルビジネス学科の海外研修は大学にはない訴求力のあるプログラムとなっている。インターンシップもカリキュラム化に着手しており、一部先行したプログラムを実施している。これからはインターンシップの比率を1/2にし、体系だったカリキュラムへとデュアル教育の展開を図る予定である。

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	韓 洋春
--------	------------	-------	------

6-32 防災に対する体制は整備されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-32-6 防災に対する体制は整備され、有効に機能しているか	3	防災に対する体制は、整備されている。(体制図、避難経路、備蓄等)年1回避難訓練を実施することにより有用性を高める必要がある。	前述のとおりである	整備された防災体制を有事の際に活かす為にも、実践に即した訓練を行い、PDCAサイクルを着実に回していく。	特になし
6-32-7 災害を起こす可能性のある設備・機器等の情報は十分に伝えられているか	3	法定点検にて指摘された事項に則り、整備を行っている。担当者から関係者に周知、共有していく体制を整備している。	前述のとおりである	校舎の老朽化並びに設備・機器の経年劣化に伴う災害を起こす対象を関係者で把握し、認識する体制整備した。	特になし
6-32-8 実習時等の事故防止の体制は十分か	2	本校は語学・ビジネスの専修学校ということもあり、実習時等の事故は考えにくいですが、そのため防止体制は整備されていない状況である。	前述のとおりである	事故防止マニュアルの作成が必要である。	特になし
6-32-9 万が一の災害が起きた場合に備えた保険等の処置は十分なものとなっているか	2	通学途中・教育活動中の事故に関する損害賠償保険には学生全員加入している。災害時のものはまだ未整備である。	前述のとおりである	災害時の被害に対し補償される保険へば加入も検討したい。	特になし

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-32-10 防災訓練を実施しているか	4	年に1回全学で防災訓練を実施し、地元の目白警察署の協力も得て、指定避難場所までの避難訓練も行っている。	前述のとおりである	あらゆる天災が想定される中で、どういった防災訓練を行うのかももう少し絞って訓練を検討する必要がある。	特になし

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
年に1回防災訓練を実施し、校内で火災が発生したという前提で指定避難場所までの避難訓練を行っている。訓練は全学で行っており、地元の目白警察署の誘導も協力を得ながら行っている。また訓練ではないが、目白警察署の方に来ていただき、防災講話も全学で実施した。これからは地震も想定した防災訓練も必要であると考えます。	防災訓練を契機に地元の目白警察署との連携が一気に進んだことは特徴である。訓練後は目白警察署の方が来られ、全学対象に防災講話を行っていただいた。また外国人留学生も在籍する本校の事情から、災害時の外国語通訳ボランティアに関する協定書も結ぶに至り、地域との連携の中防災訓練を実施している。

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	韓 洋春
--------	------------	-------	------

基準 7 学生の募集と受け入れ

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校ではグローバル人材育成推進のため、語学やビジネススキルを身につけて国内はもちろん海外に目を向けて活躍したいと考える生徒が集まることで入学定員を充足させるべく、募集活動や広報活動を行う独自の部署を設け体制を整えている。年度当初より早め早めの活動を意識し、学校案内の送付やオープンキャンパスの開催、学校訪問やフェアへの参加等を通じて学生の適正な募集活動を行っている。</p> <p>その際にできるだけ本校の教育成果を正確に伝え、入学希望者本人が納得して自ら進学したくなるような魅力的な学校作りに意識して取り組んでいる。常に教育の質的向上を図り、学生の満足度を高め、他を寄せ付けない圧倒的な実績を上げ、グローバル企業への就職や海外大学への進学ができる道を作るなど、日本にまだ広がっていないグローバル人材となるチャンスを生み出すチャレンジを続けてファン層を作り、安定した入学者数を毎年確保できるよう教職員一丸となって奮闘している。</p> <p>今後の課題としては、卒業生の活躍が募集にどう貢献したか客観的に測る尺度を持ち、経年対比ができる仕組みを作ることである。</p> <p>入学選考も合否判定基準に基づいて書類審査、筆記試験、面接試験と人物・成績共に優秀な入学希望者を適正かつ公平に選抜するように年々改善を図っている。</p> <p>学納金も学生・保護者の負担感を考慮し、種々の学費減免制度も設けながら妥当なものになっている。</p>	<p>本校では外国人留学生も入学することから、その募集と受け入れについては、これまでの成績や本校での学習意欲はもちろん、経費支弁能力までも審査した上での厳しい選抜を実施している。また、日本語学校との連携も密に取りながら進めている。</p> <p>具体的には書類審査の上で経費支弁者の在職証明書（在職期間と直近1年間の年収が明記されたもの）と預金残高証明書の原本を求めている。そして書類審査を通過した入学希望者には日本語と英語の筆記試験を課している。筆記試験については合否判定基準に基づき、通過者にのみ面接試験を実施している。面接試験では実際に日本語・英語のコミュニケーション能力をインタビューで測り、本校の授業に入学後ついていけるかどうかの能力的な観点と、明確な志望動機があるかどうか、経費支弁能力はどうか等の観点から総合的に合否判定を行っている。</p> <p>また出席優秀者や成績優秀者には学費減免制度を設け、人物・成績共に優秀な学生を積極的に受け入れる施策を講じている。</p>

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	梅田 拓
--------	------------	-------	------

7-33 学生募集活動は、適正に行われているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-33-1 学生募集活動は、適正に行われているか	4	適切な情報提供や、問合せ・資料請求への即時対応、定期的なイベント開催、学校への訪問活動を通じて、学生募集活動は適正に行われている。	前述のとおりである	進路指導とそのスケジュールに合わせ、適切なタイミングで、より多くの入学希望者と学校に本校の魅力を伝える工夫が必要である。	特になし
7-33-2 学校案内等は、志望者・保護者等の立場に立った分かりやすいものとなっているか	5	学校案内等は毎年制作し、各学科の目指すところを余すところなく伝えられるよう志望者・保護者の立場に立ってわかりやすくしている。	学校案内	特になし	学校案内
7-33-3 志望者等の問い合わせ・相談に対応する体制があるか	5	本校には独自の入試・広報部署があり、志望者等の問い合わせ・相談に対応する体制が整備されている。	前述のとおりである	特になし	特になし
7-33-4 募集定員を満たす募集活動となっているか	4	本校の募集定員は180名であるが、学科・コースによって定員の充足率に差はある。概ね募集定員を満たす募集活動となっている。	前述のとおりである	年々募集時期が早まっていることもあり、4月以降早め早めの募集活動を展開し、募集定員を満たすための活動が必要である。	特になし

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
募集活動は生命線であるため、独自の部署を設け体制を整備し取り組んでいる。学校案内も志望者・保護者等の立場に立ったわかりやすいものにし、前述の部署が入学問い合わせ・相談に常時対応できるよう体制を整えている。このような体制下で最終的に募集定員を満たす募集活動が行われている。	募集の時期が年々早まっていることもあり、学校の進路指導に合わせた早め早めのアプローチを入学希望者と学校にを拡大する必要がある。また本校の入試・広報部署から当校の独自性や魅力を伝えるべく、高校新卒生・既卒生を問わず、これまで以上に積極的な情報提供と魅力的なイベント開催を進める必要がある。

最終更新日付

2017年2月28日

記載責任者

梅田 拓

7-34 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-34-5 学生募集において、就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられているか	4	専修学校において就職実績は重要な位置を占めるため、その教育成果は学生募集において正確に伝えている。資格取得実績や卒業生の活躍等については不十分な点がある。	前述のとおりである	就職実績はもちろん、資格取得実績、卒業生の活躍等も、入学希望者にとって入学を決定付ける重要な要素であることから、資料・掲示物にしてより正確に伝えられるような工夫を行っていく。	学校案内
7-34-6 卒業生の活躍の教育成果が学生募集に貢献したかどうか正しく認識する根拠を持っているか	2	卒業生の活躍の教育成果が学生募集にどう貢献したかを正しく認識する根拠は実際やや足りない。	前述のとおりである	卒業生の活躍の教育成果を学校案内等で正確に伝え、入学希望者の入学決定要因が何であったのかを正しく把握する調査を実施することから始めたい。	特になし

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
当然ながら就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍等の教育成果を正確に伝えることは、入学希望者が入学意思を固める際の重要なポイントであるとの認識の下、募集活動に取り組んでいる。卒業生の活躍等の教育成果が学生募集に貢献したかどうか正しく認識する客観的な根拠はやや足りない。	就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍等は教育成果の集大成でもあり、一覧表や写真入りの説明で学校案内等に分かりやすく記載し、正確に伝える努力を今後も推し進めたい。そしてその教育成果が学生募集にどう貢献したかを正しく認識できる尺度を構築し、本校において出口の実績並びに卒業生の活躍等が募集にどれだけ貢献しているのか正しく認識できるようにする。

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	梅田 拓
--------	------------	-------	------

7-35 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-35-7 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	5	入学選考は、書類審査・筆記試験・面接試験と設け、合否判定基準に照らし合わせて適正かつ公平な基準に基づき行われている。	合否判定基準	特になし	募集要項、合否判定基準
7-35-8 入学選考に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	5	関係者のみ閲覧可能なデータベースで選考状況を管理し、合否判定会議のたび更新することで、入学選考に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握している。	前述のとおりである	特になし	『入試受付リスト』（データ）

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学内で書類審査・筆記試験・面接試験を厳格に行う体制を整備し、合否判定基準に基づいて適正かつ公平な入学選考が行われている。</p> <p>また関係者のみ閲覧可能な入学選考に関するデータベースを管理・更新することで、入学選考に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握している。</p>	<p>現状では、外国人留学生の入学希望者もいることから、選考には細心の注意を払っている。書類審査では経費支弁能力があるかどうか厳格に審査し、筆記試験では授業についていける学力があるかどうか適正かつ公平な基準で選考している。面接では志望理由が明確かどうかを確認し、勉学意欲並びに人物、経費支弁能力をみている。これら外国人留学生の入学選考に関する情報も、データベースでその推移を学科ごとに正確に把握している。</p>

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	梅田 拓
--------	------------	-------	------

7-36 学納金は妥当なものとなっているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-36-9 学納金は、教育内容、学生および保護者の負担感等を考慮し、妥当なものとなっているか	5	本校の教育内容に照らし合わせて、学納金は学生および保護者の負担感等を考慮し、妥当なものとなっている。	これまで学納金に対して負担感が重いという意見は特段出ていない。	特になし	学則、募集要項
7-36-10 学納金に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	5	募集要項において、初年度学納金とその内訳、2年次の学納金とその内訳を明記し、入学希望者に周知徹底している。	前述のとおりである	特になし	学則、募集要項

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
グローバルビジネス学科、国際コミュニケーション学科ともに、学納金は教育内容、学生および保護者の負担感等を考慮し、妥当なものとなっていると判断する。学納金に関する情報についても初年度、2年次に分け、学納金とその内訳を明記し、募集要項に記載しているので入学希望者には周知徹底されている。	特になし

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	梅田 拓
--------	------------	-------	------

基準 8 財務

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>●中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか 町田市から豊島区池袋に校舎を移転し、2017年3月で丸3年が経ち、4年目を迎える。その間入学者数も順調に伸び、中長期的に本校の財務基盤は安定しつつあると言える。</p> <p>●予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか 入学者数の予測並びに進級者の見込み数に基づいて予算案を立て、収支計画を立てている。予算・収支計画ともに有効かつ妥当なものになっている。</p> <p>●財務について会計監査が適正におこなわれているか 本校の財務について会計監査が適正に行われている。</p> <p>●財務情報公開の体制整備はできているか 財務情報公開の体制整備はできている。既に公開する財務情報の資料も完成している。公開形式も学校法人 ISI 学園ホームページでの公開をしている。</p>	<p>本校は 2014 年 4 月に東京都町田市から豊島区池袋に移転した。それまでは学生数も数十名で中長期的に学校の財務基盤は安定しているとは言えない状況であった。池袋に移転してからは入学者数も順調に伸び、ようやく中長期的に財務基盤が安定しつつある状況になってきた。</p> <p>それに伴い予算・収支計画も有効かつ妥当なものになってきており、健全な学校運営がなされるようにこの 2～3 年になってきた。</p> <p>財務情報公開の体制も整備され、財務情報の資料を学校法人 ISI 学園ホームページにて公開している。</p>

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	韓 洋春
---------------	------------	--------------	------

8-37 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-37-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	中長期的に本校の財政基盤を支えるものは、入学者数によるが、近年入学者数も安定しており、財政基盤も安定していると言える。	前述のとおりである	中長期的に本校の財政基盤を安定したものとするためには、入学者の安定確保であり、募集がどれだけ順調に伸びるかが重要である。	特になし
8-37-2 主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握しているか	4	本校の主要な財務数値に関する情報とその推移については正確に把握しており、不明瞭な点があればそのつど解決し、修正している。	前述のとおりである	特になし	特になし

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
中長期的に本校の財政基盤を支えるために、入学者数の安定確保をいかに図るかが重要である。その点では近年順調に入学者数も推移しており、安定していると言える。また主要な財務数値に関する情報についても、予算案と齟齬が生じた部分等についてはその都度解決し、修正を行っている。	特になし

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	韓 洋春
--------	------------	-------	------

8-38 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-38-3 年度予算、中期計画は、目的・目標に照らして、有効かつ妥当なものとなっているか	4	本校の年度予算、中期計画は、目的・目標に照らして、有効かつ妥当なものになっている。	予算案	特になし	予算案
8-38-4 予算は計画に従って妥当に執行されているか	4	予算案に基づいて計画どおりに妥当に執行されている。	予算執行実績	特になし	予算執行実績

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校の年度予算、中期計画は、目的・目標に照らして有効かつ妥当なものとなっており、計画に従って予算は妥当に執行されている。	特になし

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	韓 洋春
--------	------------	-------	------

8-39 財務について会計監査が適正におこなわれているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-39-5 財務について会計監査が適正におこなわれているか	5	本校の財務について会計監査は適正におこなわれている。	前述のとおりである	特になし	会計監査報告書
8-39-6 会計監査を受ける側・実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールは妥当なものか	5	妥当なものとなっている。	前述のとおりである	特になし	特になし

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校の財務について会計監査は適正におこなわれており、会計監査を受ける側・実施する側の責任体制も明確であり、監査の実施スケジュールも妥当なものである。	特になし

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	韓 洋春
--------	------------	-------	------

8-40 財務情報公開の体制整備はできているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-40-7 私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか	5	会計年度の財務情報を学校法人 ISI 学園ホームページにて行っている	前述のとおりである	特になし	特になし
8-40-8 私立学校法における財務情報公開の形式は考えられているか	5	同上	前述のとおりである	特になし	特になし

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
会計年度における財務情報を学校法人 ISI 学園ホームページにて公開している。	特になし

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	韓 洋春
--------	------------	-------	------

基準 9 法令等の遵守

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>法令等の遵守については学校法人 ISI 学園としても非常に意識をしている部分である。</p> <p>●法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか 本校は学校法人立の専修学校として、法令や専修学校設置基準、東京都の指針等が遵守され、適正な運営がなされている。ただそれを恒常的に教職員・学生等に対する啓発活動にまで至っていないのが課題である。</p> <p>●個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか 『学校法人 ISI 学園個人情報の取扱いについて』、『学校法人 ISI 学園個人情報の取扱いに関する同意書』に基づき、学校が保有する個人情報に関し、その保護のための対策を講じている。 しかしこれも恒常的に教職員・学生等に対する啓発活動を実施できていないのが現状である。</p> <p>●自己点検・自己評価について 自己点検・自己評価については 2015 度初めての取り組みであり、それまでできていなかったことは真摯に反省したい。引き続き自己点検・自己評価を実施し、学園ホームページ等を通じて公開していく。さらに学校関係者評価、第三者機関評価を通じて本校のさらなる発展のため、様々な人々の意見に耳を傾け、改善策を講じる体制を確立する。</p>	<p>日本人学生についても関係法令等の遵守は当然のことだが、外国人留学生も受け入れている本校は、出入国管理及び難民認定法の遵守、そして東京都の管理指針も遵守しなければならない。この点については本校の教職員の意識は高いと言える。しかしその遵守すべき内容について恒常的に教職員・学生等に対する啓発活動を行うことはまだ不十分だと考える。</p> <p>個人情報については学校法人 ISI 学園の規定に則って厳格に定められ、遵守している。ただこの内容について恒常的に教職員・学生等に啓発活動を行っていないのが現状である。</p> <p>自己点検・自己評価については昨年度が初めての取り組みであり、これからも毎年自己点検・自己評価を実施し、公開していく予定である。そして学校関係者評価、第三者機関評価を通じて「外」からの視点を学校運営に積極的に取り入れ、本校のさらなる発展に寄与させたい。</p>

最終更新日付	2017 年 2 月 28 日	記載責任者	韓 洋春
--------	-----------------	-------	------

9-41 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-41-1 法令や専修学校設置基準等が遵守され、適正な運営がなされているか	5	法令や専修学校設置基準等が順守され、適正な運営がなされている。	前述のとおりである	特になし	特になし
9-41-2 法令や専修学校設置基準等の遵守に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	3	教職員・学生等に対する啓発活動は不十分である。	前述のとおりである	外国人留学生も受け入れていることから、いろいろな面で法令や専修学校設置基準や東京都の指針を順守するようにしている。ただ教職員・学生等への啓発活動はこれから取り組むべき課題である。	特になし

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校法人立の専修学校として当然のことながら、法令や専修学校設置基準、東京都の指針等が遵守され、適正な運営がなされている。ただそれら遵守に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を行うまでには至っていない。まずは教職員の意識涵養のためにも、適宜啓発活動を行い、コンプライアンスの意識向上を図るようにしたい。	外国人留学生を多数受け入れていることから、東京都の管理指針等の遵守も求められている。当校はこれら指針等も遵守し、適正な運営をしているが、法令・専修学校設置基準・東京都管理指針等の内容をきちんと教職員・学生等に対して啓発活動を行う機会を設ける必要がある。まずは教職員に対する啓発活動から取り組みたい。

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	韓 洋春
--------	------------	-------	------

9-42 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-42-3 志願者、学生や卒業生および教職員等学校が保有する個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	『学校法人 ISI 学園個人情報の取扱いについて』、『学校法人 ISI 学園個人情報の取扱いに関する同意書』に基づき、学校が保有する個人情報に関し、その保護のための対策を講じている。	『学校法人 ISI 学園個人情報の取扱いについて』	前述の規定に基づいて学校が保有する個人情報保護のための対策は組織としてはかなり進んでいる。一方一人一人の教職員の意識改革、日常業務での個人情報取扱いに対する改善が課題としてある。	『学校法人 ISI 学園個人情報の取扱いについて』 『学校法人 ISI 学園個人情報の取扱いに関する同意書』
9-42-4 個人情報に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	3	当校として個人情報に関する教職員・学生向けへの啓発活動を今後も積極的に取り組む。	前述のとおりである	個人情報保護に対する教職員の意識は一定レベルにあるが、定期的に教職員・学生等に対する啓発活動をより積極的に実施していく。	特になし

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報保護に関する取り組みは学校法人 ISI 学園としても明確に規定を定め、その対策に常に取り組んでいる。当校としては学園の方針、規定に沿って学校が保有する個人情報保護に努めている。ただ教職員によって意識差があり、総体的に意識向上させるための定期的な啓発活動がこれからの課題である。	日本人学生だけでなく外国人留学生も在籍する本校としては、パスポート・在留カード等の外国人留学生の在留に関する個人情報もきちんと保護しなければならない。

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	韓 洋春
--------	------------	-------	------

9-43 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-43-5 自己点検・自己評価を定期的実施し、問題点の改善に努めているか	3	平成 27 年度より自己点検・自己評価を実施し、問題点の改善に取り組んでいる。	前述のとおりである。	平成 27 年度より自己点検・自己評価を定期的実施することに着手し、問題点の改善に努めるようにしている。	特になし
9-43-6 自己点検・自己評価に関する方針は確立されているか	3	自己点検・自己評価の実施が平成 27 年度からであり、ようやく今年度より年間スケジュールに組み入れ、全教職員で取り組んでいる。	前述のとおりである。	自己点検・自己評価と学校関係者評価、そして教育活動の PDCA を有機的に組み合わせることが課題である。	特になし
9-43-7 自己点検・自己評価に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	3	平成 27 年度より自己点検・自己評価の実施・公開に着手し、その方針は関係者に対して伝わっている。	前述のとおりである。	これから毎年定期的実施するなかで自己点検・自己評価に関する方針を関係者に対して正確に伝えたい。	

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
自己点検・自己評価の実施が平成 27 年度からであるため、問題点の改善や方針の確立がまだ不十分である点は否めない。これから自己点検・自己評価の実施を重ねる中で方針を明確に確立し、関係者に対して正確に伝えていきたい。そして学外に広く公開することで、いろいろな方々の意見に真摯に耳を傾け、問題点の改善に努めていきたい。	特になし

最終更新日付	2017 年 2 月 28 日	記載責任者	韓 洋春
--------	-----------------	-------	------

9-44 自己点検・自己評価結果の公開はしているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-44-8 自己点検・自己評価結果は公開しているか	5	学園ホームページに公開している。	前述のとおりである。	特になし	特になし
9-44-9 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は確立されているか	5	毎年3月に学園ホームページに公開することを決めている。	前述のとおりである。	特になし	特になし
9-44-10 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	4	自己点検・自己評価の公開に関する方針は関係者に対して正確に伝わっており、外部団体からも評価をいただくようにしている。	前述のとおりである。	特になし	特になし

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>平成27年度より初めて自己点検・自己評価を実施・公開したことについてまずは真摯に反省したい。</p> <p>今後は毎年3月に自己点検・自己評価を学園ホームページにて公開し、学校関係者評価と合わせて外部の意見に耳を傾け、教育活動の改善に活かしていきたい。</p>	特になし

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	韓 洋春
--------	------------	-------	------

基準 10 社会貢献

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>●学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか</p> <p>2016年度、広く企業・医療機関・団体、および地域との連携・交流は進展を見せた。職業人を養成することが専修学校の使命であるため、次年度に向けて産学接続プログラムを活性化させ、業界が求めるニーズに応える人材育成により一層取り組みたい。またカリキュラムにおいても企業と本校が共同で開発し、即戦力として活躍しうるグローバル人材養成カリキュラムの開発に着手したい。</p> <p>諸外国の学校などと連携し、留学生の相互の受け入れ、共同研究・開発も今年度進展を見せた部分である。2+2コース（本校卒業後海外の大学3年次に編入するプログラム）の教育プログラム開発に着手し、海外の高等教育機関との連携、共同研究・開発を現在進めている。</p> <p>一方生涯学習事業や附帯教育事業には取り組めておらず、学校開放を通じて地域との連携も現段階では取り組めていない。2014年4月に池袋に校舎を移転し、丸3年を迎え4年目に入る2017年度は地域住民から愛される学校としての存在価値を学校行事等を通じて高めていきたい。</p> <p>●学生のボランティア活動を奨励、支援しているか</p> <p>学生のボランティア活動については現段階では豊島区役所、目白警察署、消防署、民間企業、町内会、高齢者施設等とともに実施している。これからも地域貢献する学生を育成するため、地域の関係諸団体と連携し学生のボランティア活動を奨励、支援していく。</p>	<p>23か国の国から学生が集まっている学校であるため、それ自体が地域社会の国際化に貢献していると考えられる。そして2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けますます加速化するグローバル化に対応するため、特に企業との連携が不可欠である。2016年度はこの企業との連携が加速度的に進んだと言える。</p> <p>多国籍な教育環境を活かし、企業と同じテーブルでカリキュラムを開発し、産学接続プログラムを推進させて、産業界のニーズに応えるグローバル人材養成カリキュラムを次年度は完成させたい。そして真の意味で即戦力となる職業人の養成にまい進したい。</p> <p>また海外の高等教育機関と連携し2+2コース（本校を卒業後海外の大学3年次に編入するプログラム）の教育プログラム開発に着手した1年でもあった。特にアメリカ、イギリス、ハンガリーの高等教育機関とはプログラムが完成し、次年度は具体的な実績を出したい。</p> <p>学生のボランティアや生涯教育事業、附帯教育事業はまだまだ不十分な点はあるが、学校行事等を通じて地域住民に愛される学校へとまずは変革していきたい。学生のボランティアについても将来的には単位認定化が可能かどうか次年度俎上に載せたい。</p>

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	韓 洋春
--------	------------	-------	------

10-45 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-45-1 広く教育機関、企業・団体、および地域との連携・交流を図っているか	4	企業・団体との連携は今年度飛躍的な進展を見せた。地域との連携も目白警察署や豊島区、東京都との間で一定成果が見られた。	前述のとおりである。	これから「職業実践専門課程」の認定も視野に入れ、企業との連携を深め、産学接続プログラムの実施を始めていく必要がある。	特になし
10-45-2 学校の資源を活用し、生涯学習事業や附帯教育事業を行っているか	1	まったく行えていない。	前述のとおりである。	現状では行う予定はない。	特になし
10-45-3 学校の施設・設備を開放するなど、地域社会と連携しているか	3	目白警察署や豊島区等に開放し、連携している。	前述のとおりである。	今後も積極的に推進する。	特になし
10-45-4 諸外国の学校などと連携し、留学生の相互の受け入れ、共同研究・開発を行っているか	4	トップ外交も含め、諸外国の高等教育機関と2+2コースを推進している。今後ますます相互受け入れ、共同研究・開発が進むものと思われる。	前述のとおりである。	特になし	特になし

* 5..完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	韓 洋春
--------	------------	-------	------

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-45-5 重要な社会問題について、学生や教職員に対し啓蒙活動を行っているか	2	防災上の問題については地域と連携し、取り組んでいる。	前述のとおりである。	授業レベルでは各教員が重要な社会問題を扱っているかもしれないが、学校としての取り組みはこれからである。	特になし
10-45-6 学校として重要な社会問題に具体的に取り組んでいるか	2	防災上の問題については地域と連携し、取り組んでいる。	前述のとおりである。	学校として重要な社会問題に具体的に組み組めていない。他校の先行事例を参考にしながら、学校として重要な社会問題にどう取り組めるか検討する場を設けたい。	特になし

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
重要な社会問題について、学校としてどう取り組み、学生や教職員に対しどう啓蒙活動を行っていくのか現状では十分に組み組めていない。問題意識がないわけではないが、そこまでできるだけ組織体制が未整備であったと言わざるをえない。今後は特に他校の先行事例を参考にしながら具体的にどこから始めるか検討したい。	23か国の国から学生が集まっている学校であるため、重要な社会問題について各国のバックボーンに気を付ける必要性はあるものの、世界から学生が集うキャンパスだけに重要な社会問題についていろいろな視点から討議する場があることが望ましいとは考えている。一気には難しいが、学校として重要な社会問題に具体的に組み組む礎をまずは作りたい。

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	韓 洋春
--------	------------	-------	------

10-46 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-46-7 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	地域の目白警察署、豊島区役所を始めとする関係官公庁とのボランティア活動を奨励、支援はしており、学生の地域貢献への意識が急速に高まっている。	前述のとおりである。	学生の自主活動や校内のボランティア活動等、学校として活動の場を積極的に且つ継続的に提供し続ける。	特になし
10-46-8 学生のボランティア活動の状況を把握しているか	2	学校として取り組むボランティア活動の状況は把握しているが、個別に学生が活動しているものについては十分把握できていない。	前述のとおりである。	個人面談での聞き取り及び面談記録カードや在籍管理システムにボランティア活動の項目を入れるようにし、記録として残す必要がある。	特になし

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校として取り組むボランティア以外に、学生のボランティア活動の状況を把握し、面談記録カード、在籍管理システムに記録として残すことも今後の課題である。	特になし

最終更新日付	2017年2月28日	記載責任者	韓 洋春
--------	------------	-------	------

平成19年の学校教育法改正により専修学校における学校評価が義務化されたことを受け、教育の質保証・向上に資するという観点から本校においても「学校自己点検・自己評価報告書」を作成した。

2016年度の報告書においては、文部科学省が発行する「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考に学内に設けた委員会で議論を重ねた結果、以上の通り自己点検・自己評価報告書を作成した。

学校法人ISI学園 専門学校東京ビジネス外語カレッジ 自己点検・自己評価報告書を作成するにあたり学内に設けた委員会のメンバーは以下のとおりである。

2017年2月

専門学校東京ビジネス外語カレッジ 自己点検・自己評価委員会

校長	並河 克彦
事務局主任	韓 洋春
教務副主任	伊藤 玲
教務チーフ	青木 菜穂子
教務	佐藤 和子
教務	山福 久雄
教務	平野 健
入試広報チーフ	梅田 拓
入試広報	泉 みどり
入試広報	伊藤 美和
入試広報	巖 格
事務局	白 海蘭
事務局	若松 晴美
事務局	池田 知英里